高知大学医学部附属病院

# 内科

DR.西村に聞きました！
キャリアについて教えて！



消化器内科

## 西村 尚広 DR.

nishimura takahiro

profile
- 出身大学／徳島大学
- 初期研修病院／高知大学医学部附属病院
- 卒後何年目／4年目
- 専門分野／消化器内科

**Q 現在の診療科、病院へ進んだきっかけ、働いた感想は？**

A 父親が地域医療に従事していることもあり、幼少期から内科全般を診れる医師になりたいという気持ちがありました。学生時代に地域医療実習で愛媛県の病院に行った際に内視鏡に触れる機会があり、内視鏡はできるようになりたいと思う様になりました。実際に学生実習や初期研修で消化器内科を回った際に内視鏡診断の奥深さに触れ、より興味がわいて、消化管だけでなく肝胆膵も含めて幅広く学ぶことができると考え、消化器内科分野に進むことに決めました。実際に働き始めると周りの先生方のみならず、様々な職種の方々とコミュニケーションが必要になりますが、その点非常にスムーズに感じています。

**Q 卒後から現在まで、卒後10年目以降のキャリアについて教えてください**

A 徳島大学を2020年に卒業し、高知大学医学部附属病院で初期研修2年間ののち消化器内科に入局しました。

卒後10年目以降のキャリアはまだ考えているところです。臨床で学んだことを活かして研究分野に挑戦したい気持ちもありますし、国内外留学のチャンスがあればしてみたい気持ちもあります。発展的なことに挑戦できるように今のうちにしっかり勉強していきたいと考えております。

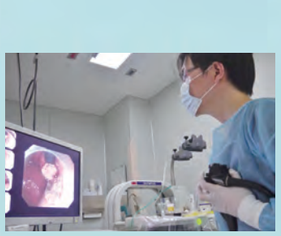
**Q 休日の過ごし方、リフレッシュの仕方は？**

A 休暇は希望通り取らせていただいております。

休日はロードバイクで景色のいいところを走ったり、美味しいものを食べたりしてリフレッシュしています。

**Q 研修医や医学生にアドバイスをお願いします**

A 進路はとても悩むところだと思います。興味が少しでもあれば1ヶ月だけでも研修してみてください。自分が主治医のつもりで研修するとより成果が得られると思います。











## プログラムの特色

高知大学内科専門研修プログラム（消化器内科）

各診療科の協力のもと内科専門医取得のための研修をすることはもちろんのこと、消化器内科では消化器病専門医、肝臓専門医、消化器内視鏡専門医の資格取得に向けた研修を同時に行います。専門医取得後は、大学院において今までに解決できなかった臨床上の疑問点を研究によって解決する手法を学び、その成果を再び臨床に還元する、"From bedside to bench and back again."を合言葉に学位取得を目指します。取得後はそれぞれの先生の個性に合わせて、続けて研究活動を行う、更なる専門領域の研修に励む、一般消化器内科医として高知県の地域医療に貢献するという様々な進路を用意しています。

内科そして消化器専門医の資格の取得は当然のこととして、その研修の過程で人間的にバランスが取れた、高い臨床能力を持った、問題点を自分で見つけ出し解決できる自己解決能力を持った医師となることを目標としています。

### 専攻医週間スケジュール

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土・日 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 午　前 | 上部内視鏡検査<br>肝生検／肝癌局所治療<br>病棟業務 | 外来処置<br>上部内視鏡検査<br>病棟業務 | 上部内視鏡検査<br>病棟業務 | 上部内視鏡検査<br>病棟業務 | 外来処置<br>上部内視鏡検査<br>病棟業務 | 当直がある日は当直業務 |
| 午　後 | 医局会<br>回診 | 病棟業務<br>下部・胆膵内視鏡検査 | 肝血管造影検査<br>超音波内視鏡検査<br>病棟業務 | 病棟業務<br>下部・胆膵内視鏡検査<br>肝血管造影検査 | 肝生検／肝癌局所治療<br>胆膵カンファレンス | |
| 夕　方 | 症例検討会<br>抄読会 | 外科合同<br>消化管カンファレンス | 3科（外科・放科）<br>合同胆膵カンファレンス<br>肝臓カンファレンス | 新患紹介 | 消化管カンファレンス | |

### 取得可能専門医

- 日本内科学会内科専門医
- 日本肝臓学会肝臓専門医
- 日本臨床免疫学会免疫療法認定医
- 日本消化器内視鏡学会指導医
- 日本胆道学会認定指導医
- 日本消化器病学会消化器専門医
- 日本超音波学会超音波専門医
- 日本内科学会総合内科専門医
- 日本消化管学会胃腸専門医
- 日本消化器内視鏡学会内視鏡専門医
- 日本消化管学会胃腸認定医
- 日本消化器病学会指導医
- 日本膵臓学会認定指導医

### キャリアパス

| 卒後年数 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 | 8年 | 9年 | 10年 | 11年 | 12年 | 13年 | 14年 | 15年 | 16年 | 17年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 内科・消化器科専門研修プログラム専攻医 | | | | | 内科専門医 | | | 消化器病専門医<br>肝臓専門医 | | 内科指導医 | | 消化器内視鏡専門医<br>消化器病指導医<br>肝臓指導医 | | 消化器内視鏡指導医<br>医学博士 | | |
| 研修施設名 | 初期臨床研修期間<br>高知県下の研修病院 | | 高知大学病院 | | 幡多けんみん病院<br>土佐市民病院など | | | | 高知大学病院 | 高知大学病院 | | | 海外留学<br>国内留学 | | 高知大学病院<br>高知医療センター<br>幡多けんみん病院<br>土佐市民病院<br>近森病院など | | |
| 診療以外のキャリア | － | － | | | | | | | 大学院（社会人枠）にて学位取得を目指す | | | | | | | | |
| 償還期間<br>消化年数 | 1年 | 2年 | 4年 | | 8年 | | | | 9年 | － | | | － | | － | | |

（高知県医師養成奨学貸付金受給者の例）



プログラムの詳細
https://www.kochi-u.ac.jp/kms/sotu5/technical/file/01naika_pro.pdf

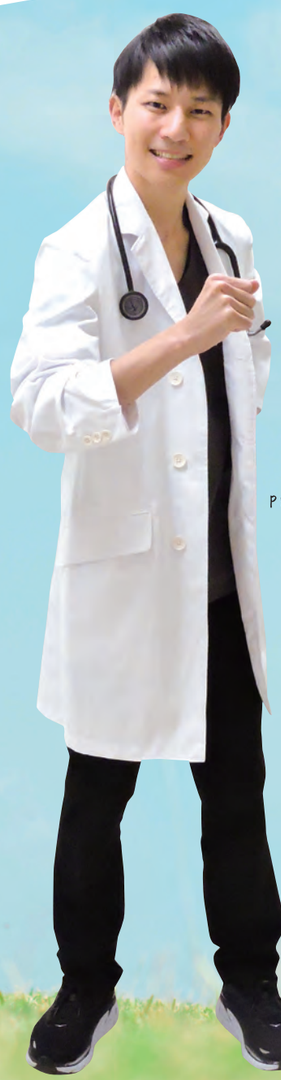
消化器内科 HP
http://www.kochi-u.ac.jp/kms/fm_intr1/index.html

お問い合わせ↘
〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮185-1
高知大学医学部附属病院 消化器内科
TEL：088-880-2338　FAX：088-880-2192
Mail／im23@kochi-u.ac.jp

高知大学医学部附属病院

# 内科





DR.吉本に聞きました！
キャリアについて教えて！

内分泌代謝・腎臓膠原病内科

## 吉本 龍太朗 DR.

yoshimoto ryutaro

Profile
- 出身大学／高知大学
- 初期研修病院／高知県立幡多けんみん病院
- 卒後何年目／3年目
- 専門分野／腎臓、膠原病、糖尿病、代謝内分泌

**Q 現在の診療科、病院へ進んだきっかけ、働いた感想は？**

**A** 以前から臓器にとらわれずに全身を診たいとの思いがあり、内科系のなかでも特に自己免疫疾患や膠原病などを専門にしたいと思っていました。腎臓、内分泌、糖尿病においても自己免疫が病態に深く関与しており、多臓器にわたる幅広い知識が要求される点や、治療の専門性・特殊性に魅力を感じ、内分泌代謝・腎臓膠原病領域を専門にしようと決めました。

この病院で働こうと決めたきっかけは、出身大学であることに加え、幅広い専門知識や技術、全身管理を身につけられる点に魅力を感じ、高知大学の内分泌代謝・腎臓膠原病内科に入局しました。実際に働いてみて、手厚い指導体制が整っていることや、若手医局員同士が互いに学びあえる環境であることを実感する日々です。専門分野はもちろんのこと、内科医の第一歩として魅力的な研修を行うことができ、充実した日々を過ごしています。

**Q 卒後から現在まで、卒後10年目以降のキャリアについて教えてください**

**A** 高知県立幡多けんみん病院で2年間の初期臨床研修を行い、その後現在の医局へ入局しました。現在も高知大学医学部附属病院で勤務中です。今年度は大学病院の方で専門領域を中心に症例経験を重ね、内科医としてリサーチマインドの涵養に努めてきました。来年度以降は、関連病院も含めて様々な病院・内科系診療科をローテートしながら内科医としてのキャリアアップを図るとともに、大学病院では専門性の向上に努めていければと考えています。

10年目以降は高知大学を拠点に、国内・海外留学などを経てキャリアアップを図るとともに、地元高知の内分泌代謝・腎臓膠原病診療を盛り上げていきたいと思っています。

**Q 休日の過ごし方、リフレッシュの仕方は？**

**A** 夏季休暇に加え、週末の休暇に関してもスムーズに取得できています。休日は、趣味のスキューバダイビングやドライブ、温泉・美術館めぐり、写真撮影などをして過ごしています。長期休暇も取得しやすく、国内外、陸海問わずふらっと遊びに行くことが多いです。



**Q 研修医や医学生にアドバイスをお願いします**

**A** 専門分化のニーズが高まっている昨今ですが、ジェネラルマインドあってこそ専門性はより深化するものだと痛感する日々です。様々な医療機関や診療科をローテートすることで幅広い知識や技術を身につけるとともに、自身の好きなことを追求できるよう研修先やキャリアを考えると良いと思います。







## プログラムの特色

高知大学内科専門研修プログラム（内分泌代謝・腎臓内科）

当教室の指導方針は、内科学一般を広く学び、本来、内科医として最も重要な総合的考察力を身に付けた上で、教室の専門分野である内分泌、糖尿病・代謝、腎臓、リウマチ膠原病などの専門的知識を習得することを基本としています。医療の専門化・細分化が進み、その弊害として“患者さんに人として接することができない”医師が増えてきていることより、指導の基本は患者さんを全人的に診療できる医師を育てることにあると考えています。

狭心症、心筋梗塞などの心血管イベントのリスクとして、社会的に大きな問題になっている糖尿病、高血圧、脂質異常症、慢性腎臓病などの生活習慣病や、近年、生活習慣病と同様に心血管イベントのリスクとして認識され始めた慢性炎症疾患であるリウマチ膠原病などは当科の専門領域です。このようなcommon diseaseから内分泌疾患、腎疾患、膠原病といった専門性の高い疾患まで広い分野の疾患を対象としており、これらの分野における専門医の主要育成機関であると評価されています。

### 専攻医週間スケジュール

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|
| 午　前 | 病棟業務 | 外　来 | 教授回診<br>病棟全体カンファレンス | 外　来 | 病棟業務 |
| 午　後 | 病棟業務<br>糖尿病カンファレンス | 病棟業務 | 病棟業務、腎生検<br>甲状腺穿刺吸引細胞診<br>内分泌カンファレンス<br>腎膠原病カンファレンス | 病棟業務 | 病棟業務、関節エコー<br>透析カンファレンス |

### 取得可能専門医

- ●内科専門医
- ●腎臓領域専門医
  - ○日本内科学会総合内科専門医
  - ○日本臨床免疫学会免疫療法認定医
  - ○日本透析医学会専門医
- ●内分泌代謝・糖尿病内科領域専門医
- ●膠原病・リウマチ内科領域専門医
  - ○日本リウマチ学会専門医
  - ○日本腎臓学会専門医
  - ○日本肥満学会専門医
  - ○日本甲状腺学会専門医
  - ○日本病態栄養学会専門医
  - ○日本内分泌学会認定内分泌代謝専門医
  - ○日本糖尿病学会専門医

### キャリアパス

サブスペシャルティ
腎臓専門医、リウマチ膠原病専門医
内分泌代謝・糖尿病内科領域専門医 → 糖尿病専門医

内科専門研修プログラム専攻医 → 内科専門医

| 卒後年数 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 | 8年 | 9年 | 10年 | 11年 | 12年 | 13年 | 14年 | 15年 | 16年 | 17年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 初期臨床研修期間 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 研修施設名 | 高知県下の研修病院 | | 高知大学病院 | 幡多けんみん病院あき総合病院のいずれか | | 高知大学病院 | | 幡多けんみん病院あき総合病院のいずれか | | 高知大学病院 | | 海外留学または国内留学（可能） | | 高知大学病院など | | | |
| 診療以外のキャリア | － | － | | | | 大学院（社会人枠）にて学位取得を目指す | | | | | | | | | | | |
| 償還期間消化年数 | 1年 | 2年 | 3.5年 | | 5年 | | 7年 | | 9年 | | － | | － | | － | | |

| 卒後年数 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 | 8年 | 9年 | 10年 | 11年 | 12年 | 13年 | 14年 | 15年 | 16年 | 17年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 研修施設名 | 高知県下の研修病院 | | 高知大学病院 | | 幡多けんみん病院あき総合病院のいずれか | 高知大学病院 | | 高知大学病院 | 幡多けんみん病院あき総合病院のいずれか | | 高知大学病院 | 海外留学または国内留学（可能） | | 高知大学病院など | | | |
| 診療以外のキャリア | － | － | | 近森病院、高知赤十字病院のいずれか | | 大学院（社会人枠）にて学位取得を目指す | | | | | | | | | | | |
| 償還期間消化年数 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5.5年 | 7年 | － | 9年 | | － | | － | | － | | | |

（高知県医師養成奨学貸付金受給者の例）

プログラムの詳細
https://www.kochi-u.ac.jp/kms/sotu5/technical/file/01naika_pro.pdf

内分泌代謝・腎臓内科 HP
http://www.kochi-u.ac.jp/kms/fm_intr2/index.html

お問い合わせ ↘
〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮185-1
高知大学医学部附属病院 内分泌代謝・腎臓内科
TEL：088-880-2343　FAX：088-880-2344
Mail／im24@kochi-u.ac.jp

高知大学医学部附属病院

# 内科

DR.水田に聞きました！
キャリアについて教えて！



呼吸器・アレルギー内科

## 水田 順也 DR.

mizuta junya

Profile

出身大学／高知大学
初期研修病院／高知赤十字病院
卒後何年目／11年目
専門分野／呼吸器内科





**Q 現在の診療科、病院へ進んだきっかけ、働いた感想は？**

A 気管支鏡検査などの手技や、画像診断の面白さ、肺癌や間質性肺炎など治療の難しい病気であったとしても適切な診断により改善が得られる点に魅力を感じました。またクリクラの時から第三内科（血液・呼吸器内科）の雰囲気の良さと素晴らしい先生方がいたため、初期研修の当初から第一候補として考えていました。実際に、咳で困って受診した人から「先生に診てもらった後すぐに良くなった。」と言ってもらった時や、癌の治療が著効した時などは非常に達成感を感じます。
当院は県内唯一の大学病院であり、専門医のキャリア形成の面でも、奨学金返済のために地域病院へ出向する際の後ろ盾としても最も優れていると考えて入局しました。病院としての専門性は非常に高いと思いますが、時に他科との連携の難しさを感じることもあります。

**Q 卒後から現在まで、卒後10年目以降のキャリアについて教えてください**

A 高知赤十字病院で初期臨床研修を行いました。おかげで救急対応の基礎は身についたと思います。3年目からは第三内科（血液・呼吸器内科）に入局し、1年間の大学勤務の後、県立あき総合病院で2年間勤務しました。その間に内科認定医（旧制度）を取得。6年目からは大学に戻り、呼吸器専門医としての研修を行うとともに、日常臨床に勤しんでいます。救急対応の勘を忘れないために、月1回、他院で救急日直をさせてもらっています。
10年目以降については、呼吸器専門医取得の後は、奨学金償還のため後1.5年間地域の基幹病院での勤務を予定しています。大学院等の選択肢もありますが、私自身は臨床業務を優先して継続していきたいと考えています。

**Q 休日の過ごし方、リフレッシュの仕方は？**

A 休暇は比較的自由に取れます。未就学児の子ども2人がいますが、日々の保育園の送り迎えも出来、育休や、子どもの病気などでも休みを取ることが出来ています。休日は子育て（親として育てられ）に邁進していますが、今だけしか出来ないことだと思って楽しんでいます。

**Q 研修医や医学生にアドバイスをお願いします**

A 色んなことに興味を持ってください。また学生ならアルバイトで、研修医になっても趣味などを通じて他の職種の人との交流を心がけると良いと思います。時代がどれだけ変わっても医療は患者さんのためにあるという点は変わらないと思うので、人を知り、世の中のことを知って、患者さんの背景まで理解できるようになれば、より良い医師になれると思います。







## プログラムの特色

高知大学内科専門研修プログラム（呼吸器・アレルギー内科）

高知県で非常に不足している呼吸器領域の専門医を効率的に取得することをめざす内科専門医プログラムです。プログラムは極めてフレキシブルであり個々人の目標と希望あるいは事情にあわせて個別化したプログラムを作ることができます。また、がん薬物治療あるいはアレルギー領域の専門医を併せてめざすことも可能です。

## 専攻医週間スケジュール

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|
| 午　前 | 外　来 | 症例検討会（隔週）<br>呼吸器回診 | 病　棟 | 外　来 | 病　棟 |
| 午　後 | 外　来 | 病　棟 | 気管支鏡 | 外　来<br>（血液カンファ・回診） | 気管支鏡 |
| 夕　方 | 呼吸器カンファ | J-OSLER<br>症例登録 | | | |

## 取得可能専門医

- 日本内科学会内科専門医
- 日本呼吸器学会認定専門医
- 日本アレルギー学会認定専門医
- 日本臨床腫瘍学会認定がん薬物療法専門医
- 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医

## キャリアパス

内科専門研修プログラム専攻医 → 内科専門医 → サブスペシャルティ 呼吸器、腫瘍、あるいはアレルギー専門医 総合診療ダブルボード

| 卒後年数 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 | 8年 | 9年 | 10年 | 11年 | 12年 | 13年 | 14年 | 15年 | 16年 | 17年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 研修施設名 | 初期臨床研修期間<br>高知県下の研修病院 | | 高知大学病院 | あき総合病院、土佐市民病院、幡多けんみん病院のいずれか<br>高知大学病院※1 | | 高知大学病院 | あき総合病院、土佐市民病院、野市中央病院、幡多けんみん病院など<br>高知大学・高知医療センター・近森病院※2 | | | 診療あるいは研究のため、国内・国外留学（希望者） | | 高知大学病院または、あき総合病院、幡多けんみん病院、近森病院、高知医療センターなどの専門医として勤務 | | | | | |
| 診療以外のキャリア | － | － | 大学院（社会人枠）にて学位取得を目指す | | | | | | | | | | | | | | |
| 償還期間消化年数 | 1年 | 2年 | 3年 | 5年 | | 6年 | 9年 | | | － | | － | | | | | |

（高知県医師養成奨学貸付金受給者の例）

※1　1～2年間は高知市・南国市外での研修を確保する（本人希望や医局の状況にあわせて）。
※2　1.5～2.5年は高知市・南国市外での研修を確保する（本人希望や医局の状況にあわせて）。

プログラムの詳細
https://www.kochi-u.ac.jp/kms/sotu5/technical/file/01naika_pro.pdf

呼吸器・アレルギー内科 HP
https://kochi-u-kokyukinaika.jp/

お問い合わせ↘
〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮185-1
高知大学医学部附属病院
■呼吸器・アレルギー内科　TEL：088-880-2345　FAX：088-880-2192
Mail／im25@kochi-u.ac.jp

高知大学医学部附属病院

# 内科

DR.小笠原に聞きました！
キャリアについて教えて！



血液内科学講座

## 小笠原 史也 DR.

ogasawara fumiya

Profile

出身大学／高知大学
初期研修病院／高知大学
卒後何年目／9年目
専門分野／血液内科

**Q 現在の診療科、病院へ進んだきっかけ、働いた感想は？**

A 日本人の死因の第1位は癌で、生涯を通じて2人に1人は癌を発症します。救けられる人、救けられない人も居るでしょうが、少なくとも一緒に考えて治療に望むことが出来ます。癌治療は非常に進歩の早い分野ですので、当院で最も癌治療を行っている科である血液内科を選択しました。内科に進むと分かるかと思いますが、患者さんは多くの疾患を抱えており、単独の診療科で治療を完結させる事は難しいです。地域枠で入学したため高知県で働く予定でしたし、癌治療を行うなら大学の一択でした。研修時代に知り合いを多く作ることが出来たので、血液内科に入ってからも非常に助かっています。また他病院に研修に行って気付いた事として高知大学は教える力があるということです。背中を見て学ぶ、実地訓練で学ぶのも大事な事ですが、そうした教育では難しい症例にあたると躓きます。なぜこの検査が必要なのか、どうしてこの治療が良いのか、そういった考える力を教える事が出来る病院だと思います。

**Q 卒後から現在まで、卒後10年目以降のキャリアについて教えてください**

A 卒後からずっと高知大学で働いています。血液内科は人数が少なく中々機会が無いですが、短期間の国内留学や県内の何処かの病院で1人医長とかやってみたいです。

**Q 休日の過ごし方、リフレッシュの仕方は？**

A prime videoで映画、テレビ番組、お笑い系の番組をよく観ています。俗っぽい番組の方が好きですね。

**Q 研修医や医学生にアドバイスをお願いします**

A 在学中は同じ学び舎で学んでいますので、学力による成績がその人の評価となります。研修医になると様々な病院に散りますので中々評価が難しいですが、優秀だった人が自分にあわない病院に行ってダメになってしまうのは良くありますし逆もまた然りです。研修病院選びや3年目以降の専攻科選択はその後の人生を変える大きな選択です。高知県に残ることや大学に所属する人がマッチする人もいればそうでない人もいますので、自分は県外に行く事は賛成です。どの病院を選ぶにしても、しっかりと指導してくれる病院や根拠に基づいた診療をしているかを基準に選んでください。例えばカンファレンスに参加した時に、議論する事がほとんどない診療科や担当医がプレゼン時に根拠となるガイドラインや論文、症例報告など提示していない場合は要注意です。簡単な症例であれば議論の必要はありませんが、通常はそういった症例ばかりではなく悩ましい症例があります。そういった悩ましい症例で議論がほぼ無く次の症例に移ったり、担当医が診断や治療の根拠、今後の方針を示せない、もしくは質問されたときに質問に答えられないのは非常に危険な兆候ですので注意してください。

どんな指導を受けたかでその後その人がどんな指導を行うかが決まりますので、病院選びは慎重に行いましょう。







## プログラムの特色

高知大学内科専門研修プログラム（血液内科）

白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫等の造血器腫瘍に対する化学療法、分子標的療法、抗体療法等を主に行っています。再生不良性貧血、発作性夜間血色素尿症、血友病、キャッスルマン病など、非腫瘍性の希少疾患の治療も行っています。難治性の疾患に対しては造血幹細胞移植も古くから行っており、今後は二重特異性抗体や キメラ抗原受容体細胞療法などの免疫療法の発展も期待されます。内科全般の知識を駆使して血液疾患の診療に当たることで、重症疾患の全身管理、感染症の管理を身に着けることができます。血液内科には、専門領域として分子血液治療学に精通したスタッフが在籍しており、最先端の分子治療を国際的にも高いレベルでおこなっています。

## 専攻医週間スケジュール

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|
| 午　前 | 他科コンサルト病棟 | 他科コンサルト病棟 | 病　棟 | 外来処置 | 病　棟 |
| 午　後 | 外来処置 | 病　棟 | 病　棟 | 回診（血液専攻医）<br>血液カンファ | 病　棟 |
| 夕　方 | | | | J-OSLER<br>症例登録 | |

## 取得可能専門医

- 日本内科学会内科専門医
- 日本血液学会専門医
- 造血細胞移植学会認定医
- 輸血細胞治療学会認定医
- 日本臨床腫瘍学会認定がん薬物療法専門医

## キャリアパス

内科専門研修プログラム専攻医／内科専門医／サブスペシャルティ 血液専門医 総合診療ダブルボード／あき総合病院、幡多けんみん病院、高知医療センター、土佐市民病院ほか

| 卒後年数 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 | 8年 | 9年 | 10年 | 11年 | 12年 | 13年 | 14年 | 15年 | 16年 | 17年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 初期臨床研修期間 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 研修施設名 | 高知県下の研修病院 | | 高知大学病院 | 高知大学病院 ※<br>あき総合病院、幡多けんみん病院、高知医療センター、土佐市民病院ほか | | 高知大学病院 | 高知大学病院、あき総合病院、幡多けんみん病院、高知医療センター、土佐市民病院ほか | | | 診療あるいは研究のため、国内・国外留学（希望者） | | 高知大学病院または、あき総合病院、幡多けんみん病院、近森病院、高知医療センターなどの専門医として勤務 | | | | | |
| 診療以外のキャリア | － | － | 大学院（社会人枠）にて学位取得を目指す | | | | | | | | | | | | | | |
| 償還期間消化年数 | 1年 | 2年 | 3年 | 5年 | | 6年 | 9年 | | | － | | － | | | | | |

（高知県医師養成奨学貸付金受給者の例）

※1〜2年間は高知市・南国市外での研修を確保する（本人希望や医局の状況にあわせて）。

プログラムの詳細
https://www.kochi-u.ac.jp/kms/sotu5/technical/file/01naika_pro.pdf

血液内科 HP
http://www.kochi-u.ac.jp/kms/hemat/

お問い合わせ↘
〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮185-1
高知大学医学部附属病院
■血液内科　TEL：088-888-2920　FAX：088-880-2192
Mail／im82@kochi-u.ac.jp

高知大学医学部附属病院

# 内科

DR.杉浦に聞きました！
キャリアについて教えて！



老年病・循環器内科

## 杉浦 健太 DR.

sugiura kenta

Profile
- 出身大学／高知大学
- 初期研修病院／高知大学医学部附属病院
- 卒後何年目／11年目
- 専門分野／循環器内科

**Q 現在の診療科、病院へ進んだきっかけ、働いた感想は？**

A 出身大学であった事や、県内の研修システムが県内病院をほぼ自由に選択でき非常にフレキシブルであったことから高知大学を選択しました。学生時代から内科系、あるいは小児科に興味がありました。ローテーションしたどの科もそれぞれに魅力があり、進路選択に悩みました。最終的には急性期から慢性期まで幅広く、また手技も豊富であった循環器内科を選択しました。

**Q 卒後から現在まで、卒後10年目以降のキャリアについて教えてください**

A 卒業後初期研修を高知大学で行い、その後は老年病・循環器内科に入局しました。1年間大学病院で、その後の1年を高知県立幡多けんみん病院で臨床経験を積み、再び大学病院で勤務しています。臨床では不整脈疾患の患者さんを中心に、循環器疾患全般で診療にあたっています。また心筋症と遺伝子解析の分野の研究も行っています。臨床だけでなく研究にも魅力を感じており、さらに研鑽を積みたいと思っています。今後は海外留学にも行きたいと考えています。

**Q 休日の過ごし方、リフレッシュの仕方は？**

A 子供と散歩や公園に行ったりするのが一番のリフレッシュ方法です。学会発表の準備をしたり、論文作成などを行うこともありますが、極力メリハリをつけるために休日はのんびり過ごすよう心がけています。

**Q 研修医や医学生にアドバイスをお願いします**

A 進路についてはかなり悩むと思います。自分自身もそうでした。私の初期研修先は高知大学でしたが、後期研修以降どの科に進むにしても初期研修医から立場が一気に変わるので、最初は大変なことが多いと思います。進路選択にあたっては忙しさや待遇面などいろいろな要素がありますが、自分が面白いと思える分野を選ぶことが続けていく上で重要な要素だと思っています。どの科に進むにしても各科研修で学んだことは生きてきます。実りの多い研修生活を送ってください。













## プログラムの特色

高知大学内科専門研修プログラム（老年病・循環器内科）

高知大学内科専門研修プログラムは、附属病院を基幹病院とし、高知県内の多くの医療機関を連携施設または特別連携施設とすることにより、内科全般にわたる研修は勿論のこと、地域医療からサブスペシャルティを含む次のキャリアへのステップアップへの橋渡しをシームレスに行うことが可能です。高知県医師養成奨学貸付金受給者のキャリア形成にも最適と考えます。そして希望者は卒後10年までの間に1年間の国内留学も可能です。

### 専攻医週間スケジュール

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|
| 午前 | 医局会 | 症例カンファレンス | 抄読会<br>症例検討会 | 症例カンファレンス<br>心臓カテーテル検査<br>不整脈治療 | 心臓外科とのカンファレンス |
| 午前 | 症例カンファレンス | 心臓カテーテル検査<br>不整脈治療 | | | 病　棟 |
| 午前 | 外来<br>心エコー検査 | | 外来<br>心エコー検査 | 病　棟 | |
| 午後 | 病　棟<br>学生・初期研修医の指導 | 心臓カテーテル検査<br>不整脈治療 | 病　棟<br>学生・初期研修医の指導 | 回　診 | エコーカンファ<br>ミニレクチャ |
| 午後 | | 心不全チームカンファ | | | |

※月1回、内科合同カンファレンスあり

### 取得可能専門医

- 日本内科学会内科専門医
- 日本循環器学会循環器専門医
- 日本心血管インターベンション治療学会専門医
- 不整脈専門医
- 日本老年医学会認定老年病専門医
- 日本超音波医学会超音波専門医
- 日本人類遺伝学会臨床遺伝専門医

### キャリアパス

内科専門研修プログラム専攻医 ／ 内科専門医取得 ／ 循環器専門医取得 老年病専門医取得 ／ CVIT専門医取得 不整脈専門医取得 超音波専門医取得

| 卒後年数 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 | 8年 | 9年 | 10年 | 11年 | 12年 | 13年 | 14年 | 15年 | 16年 | 17年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 初期臨床研修期間 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 研修施設名 | 高知県下の研修病院 | | 高知大学病院 | 連携施設※1<br>特別連携施設※2（高知市・南国市以外） | 高知大学病院連携施設※1<br>特別連携施設※2 | 高知大学病院、あき総合病院、幡多けんみん病院のいずれか | | | | | 高知大学病院、県内基幹病院など希望により国内／国外留学 | | | | | | |
| | | | | | | 返還の状況／希望により近森病院、高知赤十字病院、高知医療センターなど | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | または国内留学 | | | | | | | | | | | |
| 診療以外のキャリア | － | － | | | | | 大学院（社会人枠）にて学位取得を目指す | | | | | | | | | | |
| 償還期間消化年数 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 9年 | | | | ※3 | － | | | | | | |

（高知県医師養成奨学貸付金受給者の例）

※1　連携施設：高知県立あき総合病院、高知医療センター、近森病院、高知赤十字病院、国立病院機構高知病院、細木病院、JA 高知病院、南国病院、高知県立幡多けんみん病院
※2　特別連携施設：四万十市立市民病院、渭南病院、大月病院、高北国民健康保険病院、愛宕病院、いずみの病院、高知生協病院、高知高須病院、白菊園病院、土佐市民病院、野市中央病院、嶺北中央病院、北島病院、須崎くろしお病院、くぼかわ病院、椿原病院、大井田病院、島本病院、四万十市国民健康保険西土佐診療所、仁淀川町国民健康保険大崎診療所、四万十町国民健康保険十和診療所、四万十町立興津診療所、いの町立国民健康保険仁淀病院
※3　6～9年に高知市・南国市の病院に勤務又は国内留学をした場合、期間に応じて償還期間は延長される。

プログラムの詳細
https://www.kochi-u.ac.jp/kms/sotu5/technical/file/01naika_pro.pdf

老年病・循環器内科 HP
http://www.kochi-u.ac.jp/kms/fm_gratr/

お問い合わせ ↘
〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮185-1
高知大学医学部附属病院　老年病・循環器内科
TEL：088-880-2352　　FAX：088-880-2349
Mail／im26@kochi-u.ac.jp

高知大学医学部附属病院

# 内科

DR.西川に聞きました！
キャリアについて教えて！



脳神経内科

## 西川 由賀 DR.

nishikawa yuka

Profile
出身大学／高知大学
初期研修病院／近森病院
卒後何年目／13年目
専門分野／脳神経内科



**Q 現在の診療科、病院へ進んだきっかけ、働いた感想は？**

A 疾患が様々な分野にわたっており、一つの臓器だけではなく全身を診る、また退院後も含めて患者さんを全人的に診ることができるのが魅力的だと思いました。当院で働こうと思ったのは、古谷教授の神経診療に魅了され、この先生について行く！と思ったことがきっかけです。指導いただく先生方の医療、患者さんへの姿勢、態度はロールモデルとなりました。他科の先生方とも相談しやすく医師として成長できる良い場だと考えています。

**Q 卒後から現在まで、卒後10年目以降のキャリアについて教えてください**

A 近森病院で2年間初期研修を行い、その後高知大学老年病科（後に神経内科として独立）に入局、7年目に神経内科専門医を取得し、現在に至ります。10年目以降は、家庭と仕事を両立し、さらに専門的な知識や技術も磨きながら、高知県の脳神経内科医療に貢献できればと考えています。

**Q 休日の過ごし方、リフレッシュの仕方は？**

A 習い事など、仕事と全く関係のない時間を作ってリフレッシュしています。

**Q 研修医や医学生にアドバイスをお願いします**

A 実際に医療の現場に立つと見えてくるしんどさ、厳しさもありますが、自分の興味のあること、好きなことで人の命や人生を支えることのできる素敵な仕事だと思います。まずは自分のことを知って選択肢を増やしてみてください。その中に脳神経内科が入っていれば嬉しいです。一緒に働けることをたのしみにしています。







## プログラムの特色　高知大学内科専研修プログラム（脳神経内科）

脳神経内科は内科領域に属しながら脳神経外科、精神科、リハビリテーション科、小児科などとも連携が深く、脳卒中、てんかん発作、頭痛、認知症など幅広い知識が求められ、高齢化した地域では必須の診療科といえます。高知大学内科専門研修プログラムでは、まず附属病院を中心として内科全般にわたる研修を行ったうえで神経病学、神経病理、神経生理などの基本的な診療技術を身につけ、高知県内の多くの連携病院で種々の症例を経験していただき内科専門医、脳神経内科専門医の資格取得を目指していただきます。その後はそれぞれのご希望に沿って大学院などでの研究や国内留学、脳卒中、てんかん、頭痛、認知症などの専門医の取得、一般病院での診療などの進路を進むことを目標にしています。

### 専攻医週間スケジュール

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|
| 午　前 | 医局会、外来、病棟 | 症例検討会、検査 | 外来、病棟 | 抄読会、教授回診 | 検　査 |
| 午　後 | 外来、病棟 | 病　棟 | 関連病院専門外来 | 病　棟 | 病　棟 |
| 夕　方 | 小回診 | | | | |

### 取得可能専門医

- 日本神経学会認定神経内科専門医
- 日本内科学会認定内科専門医
- 日本脳卒中学会認定脳卒中専門医
- 日本てんかん学会てんかん専門医
- 日本頭痛学会認定頭痛専門医
- 日本認知症学会専門医

### キャリアパス

内科専門研修プログラム専攻医
内科専門医取得
脳神経内科専門医
サブスペシャルティ 脳卒中・てんかん専門医など
脳神経内科指導医

| 卒後年数 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 | 8年 | 9年 | 10年 | 11年 | 12年 | 13年 | 14年 | 15年 | 16年 | 17年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 初期臨床研修期間 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 研修施設名 | 高知県下の研修病院 | | 高知大学病院 | | 高知大学病院<br>南国病院、島本病院<br>近森病院<br>幡多けんみん病院<br>あき総合病院のいずれか | | | | | 国内留学（希望者） | 高知大学病院など | | | | | | |
| 診療以外のキャリア | － | － | | | | | 大学院（社会人枠）にて学位取得を目指す | | | | | | | | | | |
| 償還期間消化年数 | 1年 | 2年 | 3年 | | 5年 | | 7年 | | 9年 | － | － | | | | | | |

（高知県医師養成奨学貸付金受給者の例）



プログラムの詳細
https://www.kochi-u.ac.jp/kms/sotu5/technical/file/01naika_pro.pdf

脳神経内科 HP
http://www.kochi-u.ac.jp/kms/shink/

お問い合わせ↘
〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮185-1
高知大学医学部附属病院　脳神経内科
TEL：088-888-2749　　FAX：088-880-2192
Mail／ im71@kochi-u.ac.jp

高知大学医学部附属病院

# 内　科



DR.佐藤に聞きました！
キャリアについて教えて！

腫瘍内科

## 佐藤 拓弥 DR.

sato takuya

Profile
出身大学／関西医科大学
初期研修病院／高知大学医学部附属病院
卒後何年目／3年目
専門分野／固形腫瘍、消化管癌、頭頚部がんなど

**Q 現在の診療科、病院へ進んだきっかけ、働いた感想は？**

**A** 医学生の頃、がんに対する新規治療のレポートを課されたことがあり、“ナノマシン的なもの”で治療できれば面白そうだと考えました。そこで、ウイルスはある種のプログラミングされた挙動をすることから、遺伝子組み換えウイルスを用いたがん治療の可能性がふと頭に浮かび、調べたところ遺伝子組み換えヘルペスウイルスG47Δを用いた脳腫瘍に対する治療開発が進行中ということが分かり、近未来にがんウイルス療法が実用化されることを切望しておりました。その後臨床試験においても驚異的な治療効果が示され、2021年6月にはテセルパツレブとして保険承認されることとなりました。このように、がん治療開発は日進月歩であり、様々な新しい治療が次々と臨床応用されつつあることがとても刺激的で面白いと感じ、新規治療開発をひとつの生業とする腫瘍内科に興味を持つこととなりました。

医学生時代に、飲み会を通じてですが、当科教授である佐竹先生とお話できる機会に恵まれ、私は高知生まれで両親も高知在住であったことから、研修先として高知大学医学部附属病院を選び、初期研修医として働き始めたのちに、佐竹先生が当科の教授として赴任され、運命的なものを感じました（笑）。佐竹先生のセミナーを拝聴し、さらに腫瘍内科へ興味が湧き、当科をローテートすることとなりました。ご指導のもと、シンガポールで開催された国際的腫瘍学会で発表する機会に恵まれ、その際に名誉ある賞を頂けることとなり、佐竹先生のもとで働きたいと思うようになりました。専攻医として実際働くようになり、高知県に生きるがん患者様の支えとなれるよう、日々努力しております。

**Q 卒後から現在まで、卒後10年目以降のキャリアについて教えてください**

**A** 初期研修先としても後期研修先としても、高知大学医学部附属病院です。臨床はもちろんのことですが、たくさん研究をしたいと考えています。大学やがんセンターで臨床と研究の経験を積み、最終的には高知県のがん診療に貢献できればと思っています！

**Q 休日の過ごし方、リフレッシュの仕方は？**

**A** 休日は多分野の研究論文や記事などを読んで、知的好奇心を満たしております。休暇を取得できた際には、家族で道の駅巡りや温泉旅行に行くことが多いです。

**Q 研修医や医学生にアドバイスをお願いします**

**A** 知的好奇心のままに、日々を生きるととても楽しいですよ。気になったことは、なんでも調べることをお勧めします！







## プログラムの特色　高知大学内科専研修プログラム（腫瘍内科）

各診療科の協力のもと内科専門医取得のための研修をすることはもちろんのこと、腫瘍内科では薬物療法専門医、及び希望者にはサブスペシャルティ領域専門医の資格取得に向けた研修を同時に行います。内科専門研修プログラム専攻と同時に、がん専門医養成コースを履修することにより、学位取得と同時に薬物療法専門医資格取得を目指します。希望者は国立がん研究センターや神戸市立医療センター中央市民病院をはじめ、国内外の研究機関や研究者との国内・外留学を含めた相互交流を行い、新たなエビデンスを創出できる人材を育成します。薬物療法専門医資格及び学位取得後はそれぞれの先生の個性に合わせて、続けて研究活動を行う、更なる専門領域の研修・後進の育成に励む、地域医療発展に貢献するという様々な進路を用意しています。

### 専攻医週間スケジュール

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|
| 午　前 | 病棟業務 | カンファレンス<br>外　来 | 外　来 | 外　来 | 外　来 |
| 午　後 | 病棟業務<br>カンファレンス<br>（頭頸部外科） | 病棟業務<br>カンファレンス<br>（転移性骨腫瘍） | 病棟業務 | 病棟業務<br>カンファレンス<br>（外科） | 病棟業務 |

### 取得可能専門医

- 日本内科学会内科専門医
- 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医
- 日本遺伝性腫瘍学会 遺伝性腫瘍専門医
- 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
- 日本肝臓学会 肝臓専門医
- 日本消化器病学会 消化器病専門医
- 日本食道学会 食道科認定医
- 日本消化管学会 胃腸科専門医
- 日本プライマリ・ケア連合学会 認定医
- 米国臨床腫瘍学会（ASCO）FULL Member
- 欧州臨床腫瘍学会（ESMO）FULL Member
- 日本肉腫学会専門医
- 日本消化管学会胃腸科専門医

### キャリアパス

内科専門研修プログラム専攻医
がん専門医養成コース（がんプロ）
内科専門医
薬物療法専門医
医学博士
内科指導医
薬物療法指導医

| 卒後年数 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 | 8年 | 9年 | 10年 | 11年 | 12年 | 13年 | 14年 | 15年 | 16年 | 17年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 研修施設名 | 初期臨床研修期間<br>高知県下の研修病院 | | 高知大学病院 | | 幡多けんみん病院、土佐市民病院など | 高知大学病院、高知医療センターなど | | 幡多けんみん病院、土佐市民病院など | | 薬物療法専門医として、高知大学附属病院を含む基幹病院・研究施設・学術施設に勤務 | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | 国内・国外留学（希望者） | | | | | | | |
| 診療以外のキャリア | － | － | がんプロ大学院（社会人枠）にて学位取得を目指す | | | | | | | | | | | | | | |
| 償還期間消化年数 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 | 8年 | 9年 | | | | | | | | |

（高知県医師養成奨学貸付金受給者の例）

ここに記載したのは一つの例であり、国内・外留学や産休・育休など相談に応じて、個別にキャリアパスを組みます。

プログラムの詳細
https://www.kochi-u.ac.jp/kms/sotu5/technical/file/01naika_pro.pdf

腫瘍内科 HP
http://www.kochi-u.ac.jp/kms/courses/54/

お問い合わせ↘
〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮185-1
高知大学医学部附属病院 腫瘍内科
TEL：088-888-0388　FAX：088-880-2192
Mail／ im92@kochi-u.ac.jp

高知大学医学部附属病院

# 小児科

DR.入江に聞きました！
キャリアについて教えて！



新生児

## 入江 未希 DR.

irie miki

Profile
出身大学／高知大学
初期研修病院／高知赤十字病院
卒後何年目／13年目
専門分野／新生児

**Q 現在の診療科、病院へ進んだきっかけ、働いた感想は？**

A 学生の頃、〝全身を診ることのできる医師〟に憧れていました。5年生の実習の最後に小児科をローテートし、小児科の先生方が全身を診て、さらに心のケアやご家族のケアまでされている、まさに自分の憧れる姿で働かれているところに感動し、また、小児科全体のやわらかい雰囲気やかわいいこどもたちに惹かれ、小児科医への道を志すことになりました。

後期研修時に県外に出ましたが、高知の良さを改めて感じ、生まれ育った高知で小児医療にたずさわりたいという思いから、後期研修終了後に高知大学小児科に入局しました。県外の大きな病院と違い、疾患による病院のすみわけがないため様々な疾患、患者さんを診ることができ、多くの経験をさせていただいています。子育て中ということで、日直や当直についても相談しながら勤務できるところもありがたく感じています。小児科医としても母としても新たな発見や勉強の毎日ですが、子育て経験が仕事に生かせるというのも小児科の魅力です。赤ちゃんの生命力や成長していく力に感動する日々で、なによりとてもかわいくて、仕事をしながら癒やされます。

**Q 卒後から現在まで、卒後10年目以降のキャリアについて教えてください**

A 大学卒業後は高知赤十字病院で初期研修をしました。小児救急に興味を持ち、後期研修はＰＩＣＵがある静岡県立こども病院を選びました。卒後6年目からは高知大学小児科に入局し、同年に出産。翌年、小児科専門医を取得し、その後は新生児を中心に診療に携わっています。周産期新生児医学会の基幹施設である高知医療センターでの半年間の研修も終え、２０２３年度（卒後12年目）に新生児専門医を取得しています。

**Q 休日の過ごし方、リフレッシュの仕方は？**

A 皆で調整し合って休暇を取得することができています。休日は4歳と6歳になる息子たちと遊ぶことが多いです。高知は自然が豊かで、子育てするにもぴったりだと感じています。

**Q 研修医や医学生にアドバイスをお願いします**

A ここ数年でウェブ学会や勉強会も増え、都会にいかなくても勉強できるチャンスが増えています。地域でも、目の前の患者さん一人一人に丁寧に向き合い、学ばせていただくことで多くの知識や経験を積むことができると思います。

また、進路を決めるにあたり、科の雰囲気を感じることも大切と思います。少しでも興味がある方は、一度相談や見学にいらしてくださいね。











## プログラムの特色

高知大学医学部附属病院小児科研修医（専攻医）プログラム

小児科医は、新生児期から思春期までの正常な成長・発達に関する知識が必要です。さらにgeneral physicianとしての能力が求められるため、多くの疾患の知識とチーム医療・問題対応能力・安全管理能力を獲得し、家族への説明と同意を得る技能を身につけることが必要です。本プログラムの特色は、専門研修基幹施設、専門研修連携施設および関連施設のいずれの施設においても成育医療、救急医療、地域医療、プライマリ・ケア、育児支援、予防医学など幅広く対応できる研修システムとなっていることです。

### 専攻医週間スケジュール

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土・日 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 8:30〜9:00 | 朝カンファレンス（患者申し送り） グループ（チーム）回診 | | | | | 週末当直（1〜2／月） |
| 9:00〜12:00 | 病　棟 | 病　棟<br>学生・初期研修医の指導 | 病　棟<br>学生・初期研修医の指導 | 病　棟 | 病　棟<br>学生・初期研修医の指導 | |
| 13:00〜17:00 | 総回診（小児科病棟）<br>新患プレゼンテーション | 病棟または外来 | 病棟または外来 | 総回診<br>（新生児病棟） | 病棟または外来 | 合同勉強会（2／年） |
| | グループ（チーム）<br>カンファレンス | 予約外救急<br>患者への対応<br>専門外来での研修 | 予約外救急<br>患者への対応<br>専門外来での研修 | 病棟カンファレンス<br>新患プレゼンテーション<br>抄読会（1／週） | 予約外救急<br>患者への対応<br>専門外来での研修 | |
| 17:00〜17:15 | 患者申し送り、ふりかえり | | | | | |
| 17:30〜18:30 | 周産期カンファレンス、アレルギーカンファレンス、血液・腫瘍カンファレンス、循環器カンファレンス、腎カンファレンス | | | | | |
| 18:30〜20:00 | | | | 定例会（1／月） | | |
| | 当　直（1／週） | | | | | |

### 取得可能専門医

- 日本周産期新生児医学会専門医
- 日本小児血液・がん学会専門医
- 日本小児循環器学会専門医
- 日本小児神経学会専門医
- 日本腎臓学会腎臓専門医
- 日本アレルギー学会専門医
- 日本血液学会血液専門医
- 臨床遺伝専門医

### キャリアパス

（高知県医師養成奨学貸付金受給者の一例）

小児科専門研修プログラム専攻医　小児科専門医　小児科指導医　サブスペシャルティ専門医　※1

| 卒後年数 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 | 8年 | 9年 | 10年 | 11年 | 12年 | 13年 | 14年 | 15年 | 16年 | 17年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 初期臨床研修期間 | | 専門研修期間 | | | | | | | | | | | | | | |
| 研修施設名 | 高知県下の研修病院 | | 高知大学病院 | 幡多けんみん病院 | 高知医療センター／国立高知病院／高知赤十字病院のいずれか | 高知大学病院 | | 幡多けんみん病院またはあき総合病院 | | 高知大学病院 | | 海外留学または国内留学 | | 高知大学病院または国立高知病院／高知赤十字病院のいずれか1〜2病院 | | | |
| 診療以外のキャリア | － | － | | | | 大学院（社会人枠）にて学位取得を目指す | | | | | | | | | | | |
| 償還期間消化年数 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6.5年 | | 9年 | | － | | － | | － | | | |

小児科専門研修プログラム専攻医の3年間のうち、2年目または3年目に幡多けんみん病院で研修を行い、6年目から9年目までの期間内で、2.5年間幡多けんみん病院またはあき総合病院で勤務します。希望により6年目以降、大学院（社会人枠）にて学位取得を目指すことも可能です。

※1　日本腎臓学会専門医、日本血液学会血液専門医、日本小児血液・がん学会専門医、日本小児循環器学会専門医、日本アレルギー学会専門医、周産期専門医（新生児）、日本小児神経学会専門医など。なお、上記専門医の取得時期は学会の規定により異なります。

プログラムの詳細
https://www.kochi-u.ac.jp/kms/sotu5/technical/file/02shonika_pro.pdf

小児科 HP
https://kochi-pediatrics.jp/

お問い合わせ↘
〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮185-1
高知大学医学部附属病院 小児科
TEL：088-880-2355　FAX：088-880-2356
Mail／fujiedam@kochi-u.ac.jp

高知大学医学部附属病院

# 皮膚科

DR.角野に聞きました！
キャリアについて教えて！



皮膚科

## 角野 貴應 DR.

kadono takao

Profile
- 出身大学／高知大学
- 初期研修病院／高知医療センター
- 卒後何年目／5年目
- 専門分野／皮膚科一般

**Q 現在の診療科、病院へ進んだきっかけ、働いた感想は？**

A 小さいころからアトピーで地元の皮膚科に通っていたこともあり、自分にとって一番身近な診療科でした。実際に研修してみると内服治療や、外用治療だけでなく、手術、レーザーなどの外科的治療もあって多彩であること、また皮膚疾患は目に見えて良くなっていくので、患者さんが喜んでいくことに魅力を感じて皮膚科を選びました。

高知大の皮膚科のアットホームな雰囲気もありますが、一番は働いている先生方が楽しそうだったことが決め手でした。大学病院なので、症例が豊富で入局1か月で手術の執刀をするなど、多くの経験を積むことができています。まだまだ経験不足で、日々悩んだり、苦労することもたくさんありますが、みなさんに助けてもらいながら楽しく働けています。

**Q 卒後から現在まで、卒後10年目以降のキャリアについて教えてください**

A 2021年高知大学皮膚科入局後1年半病棟業務、地域枠の学生だったので義務期間償還のため2022年9月から1年間くぼかわ病院で地域研修し、2023年10月から高知大学皮膚科に戻ってきました。皮膚科は皮膚科専門医取得後に、皮膚悪性腫瘍専門医、美容皮膚科・レーザー専門医、アレルギー専門医を取得可能です。もともと手術には苦手意識があったのですが、皮膚科に入局して手術の楽しさを知ったこともあり、将来的には皮膚悪性腫瘍専門医を取得できたらいいなと考えています。

**Q 休日の過ごし方、リフレッシュの仕方は？**

A 夏期休暇、リフレッシュ休暇などは1カ月前までに取得し、また皮膚科は有休もとりやすいと思います。休日は子供と過ごすことが多く、一緒に遊んだりしてリフレッシュしています。

**Q 研修医や医学生にアドバイスをお願いします**

A 希望する診療科がまだ決まらない方も多いと思います。いろんな診療科を好き嫌いなく、偏見なくローテしてみてください。学生の時の印象と異なることが多いです。また研修医2年間ですべての診療科を経験することはできません。今後数十年続けていく仕事かもしれませんし、職場の環境、各診療科の魅力、自分のライフスタイルと合うかなどを知るためにも、数日だけでも興味のある診療科、研修病院を見学することをお勧めします。少なくとも見学先の先生が楽しく働いていたら間違いないと思います。迷ったら母校は働きやすいとおもいます。皮膚科もおすすめします。いつでもお待ちしています。







## プログラムの特色　高知大学医学部皮膚科研修プログラム

皮膚科医として患者さんはもちろん、他科医師からも信頼される十分な知識と技能を身につけた専門医を取得することを目指します。医学一般の基礎的技能を身につけた後、連携施設では頻度の高い疾患に幅広く対応することで総合的な診察能力を養います。大学では難治性・希少性疾患に携わり、より深い病態解明へのアプローチを習得します。研究も盛んで臨床のみならず広い視野を培うことが可能です。カンファレンスや講演会など、最先端の治療や研究についての知識を得る機会が多く学会参加も豊富です。

### 専攻医週間スケジュール

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 午　前 | 外来（病棟） | 病　棟 | 外来（病棟） | 外来（病棟） | 外来（病棟） | |
| 午　後 | 病棟（手術） | 病棟（手術） | 病棟（手術） | 総回診病棟 | 病棟（手術） | |
| 夕　方 | 夕回診 | | | 症例検討会<br>カンファレンス | | |

外来では診察医に同席し診察、検査、治療について学びます。病棟では指導医のもとで担当患者の検査や手術を含む治療に携わり、週2回の回診で担当症例のプレゼンテーションを行います。症例検討会、カンファレンスでは臨床写真の供覧、病理組織の検討、英語論文の抄読会を行っています。

### 取得可能専門医

- 機構認定皮膚科専門医
- 美容皮膚科・レーザー指導専門医
- 日本アレルギー学会専門医
- 皮膚悪性腫瘍専門医

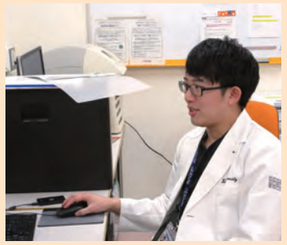
### キャリアパス

皮膚科専門研修プログラム専攻医　／　皮膚科専門医

| 卒後年数 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 | 8年 | 9年 | 10年 | 11年 | 12年 | 13年 | 14年 | 15年 | 16年 | 17年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 研修施設名 | 初期臨床研修期間<br>高知県下の研修病院 | | 高知大学病院 | あき総合病院<br>くぼかわ病院<br>土佐市民病院<br>のいずれか<br>1～2病院 | | 高知大学病院 | | あき総合病院<br>くぼかわ病院<br>土佐市民病院<br>のいずれか<br>1～2病院 | | 高知大学病院 | 海外留学<br>または<br>国内留学 | | 高知大学病院など | | | | |
| 診療以外のキャリア | － | － | | | | 大学院（社会人枠）にて学位取得を目指す | | | | | | | | | | | |
| 償還期間消化年数 | 1年 | 2年 | 3年 | 5年 | | 7年 | | 9年 | | － | － | | － | | | | |

（高知県医師養成奨学貸付金受給者の例）





プログラムの詳細
https://www.kochi-u.ac.jp/kms/sotu5/technical/file/03hifuka_pro.pdf

皮膚科 HP
http://www.kochi-u.ac.jp/kms/fm_drmtl/

お問い合わせ↘
〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮185-1
高知大学医学部附属病院 皮膚科
TEL：088-880-2363　FAX：088-880-2192
Mail／nakai.kozo@kochi-u.ac.jp

高知大学医学部附属病院

# 精神科

DR.森田に聞きました！
キャリアについて教えて！



精神科
**森田 啓史** DR.
morita hirofumi

Profile
出身大学／高知大学
初期研修病院／高知県立幡多けんみん病院
卒後何年目／12年目
専門分野／精神科一般

**Q 現在の診療科、病院へ進んだきっかけ、働いた感想は？**

A 中学時代「どうすれば幸福になれるのか」と考え、哲学や心理学に興味を抱くようになりました。高校時代には哲学科や心理学科への進学を検討しましたが踏ん切りがつかず、その頃、精神科医という仕事が両者の要素を包含しているのではと考えるようになり、医学部に進学しました。その後、紆余曲折を経て現在の仕事をしています。私は高知県出身で大学も高知大学ですので、自然と高知大学医学部附属病院精神科に入局しました。働いた感想としては、この仕事が天職と思うようになりました。精神科を受診される方は、ほとんど「幸福ではない」ために来られます。なので、その改善を目指し、働くこと以上に私に合っている仕事はないように感じます。

**Q 卒後から現在まで、卒後10年目以降のキャリアについて教えてください**

A 高知県立幡多けんみん病院で初期研修を2年間。初期対応や急変時の対応、鑑別診断や治療方針のたて方など基礎的また必須の知識を多く教わりました。3年目は、精神を診るためには身体を診るための知識が必要と考え、本山町立国保嶺北中央病院で1年間内科医として勤務。4年目に高知大学医学部附属病院精神科に入局し2年間勤務。6年目は精神科救急に強い土佐病院で1年間勤め、7年目は依存症治療を得意とする海辺の杜ホスピタルで1年間勤め、8年目に当たる令和2年4月から再度、当院に戻ってきました。今後は早期に日本精神神経学会の専門医を取得し、市中病院での経験を治療に活かしていきたいです。

**Q 休日の過ごし方、リフレッシュの仕方は？**

A 散歩や読書をしたり、晴れた日はあてどなく歩いて身近な場所の変化を楽しみ、筆山や鷲尾山のハイキングコースで森林浴するのも好きです。リフレッシュの仕方は、何よりも仕事を家に持ち帰らずonとoffの切り替えをすること。また、休みに仕事のプレッシャーを感じないように、期限が決まっているモノはできる限り早く片付けることです。

**Q 研修医や医学生にアドバイスをお願いします**

A 私は、人は他人を害さない限り、自由だと信じています。なので、思い悩んだ時は、自身が自由であることを思い返してもらいたいのです。自分は心理的視野狭窄に陥ってないか考えてみてください。偉人の言葉を借りると、ドイツの文豪ゲーテの「雨の中、傘をささずに踊る人間がいてもいい。それが自由というものだ」という一文がしっくりきます。また、意訳になるのですが「涙とともにパンを食べた者でなければ、人生の本当の味はわからない」という言葉は、個人的には辛い時の支えになるものでした。私としては、このような経験をした人にこそ、臨床医になってもらいたいと思います。







## プログラムの特色　高知大学病院連携施設精神科専門医研修プログラム

精神医学は、極めて幅広い領域を包含しており、そこには生物学的、心理学的、社会的な次元に加え、実存的・哲学的問題も関与しています。したがって、複雑を極める精神現象を理解して、治療するため、乳幼児から児童・思春期、壮年期、老年期に至る人間のライフステージすべてに研究のメスを入れ、アプローチも脳科学、分子遺伝学、精神病理学、心理学、社会学など多岐に亘る分野です。そのため、当プログラムでは高知大学の同門会にも協力を得て、中身の濃い講義の機会や、国内屈指の講師陣を迎える専門医養成講座もあるため、都市部での研修に決して引けを取らない臨床研修の経験と、専門医となるための学習の場が確保されており、このような多様な臨床経験と、最先端の精神医療を学べることが、高知大学精神科の研修プログラムの特色です。

## 専攻医週間スケジュール

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|
| 午　前 | 外来／病棟 | 外来／病棟 | 回診前カンファレンス<br>教授回診 | 外来／病棟 | 外来／病棟 |
| 午　後 | 専門外来（認知症）<br>病棟業務 | 専門外来（児童）<br>病棟業務 | 多職種カンファレンス<br>髄液検査<br>認知症カンファレンス | 病棟業務<br>リエゾンカンファレンス | 病棟業務 |
| 夕　方 | | 輪読会 | 症例検討会<br>抄読会 | | |

## 取得可能専門医

- 日本精神神経学会専門医（日本専門医機構認定）
- 日本老年精神医学会専門医
- 日本総合病院精神医学会専門医

## キャリアパス（青文字は高知市・南国市以外のSEED対象施設　いずれかで3.5年勤務で償還が可能）

精神科専門研修プログラム専攻医／日本精神神経学会専門医／日本児童青年精神医学会認定医 日本老年精神医学会専門医／日本精神神経学会精神科指導医

| 卒後年数 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 | 8年 | 9年 | 10年 | 11年 | 12年 | 13年 | 14年 | 15年 | 16年 | 17年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 初期臨床研修期間 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 研修施設名 | 高知県下の研修病院 | | 高知大学病院 | 高知医療センター<br>あき総合病院<br>幡多けんみん病院<br>芸西病院　清和病院<br>一陽病院　渡川病院<br>土佐病院　近森病院<br>細木病院　同仁病院<br>海辺の杜ホスピタル<br>のいずれか ※ | | 高知大学病院 | 高知医療センター<br>あき総合病院<br>幡多けんみん病院<br>芸西病院　清和病院<br>一陽病院　渡川病院<br>土佐病院　近森病院<br>細木病院　同仁病院<br>海辺の杜ホスピタル<br>のいずれか ※ | | | 高知大学病院 | | 海外留学<br>または<br>国内留学 | | キャリアに応じて<br>相談のうえ決定 | | |
| 診療以外のキャリア | － | － | | | | 大学院（社会人枠）にて学位取得を目指す | | | | | | | | | | | |
| 償還期間<br>消化年数 | 1年 | 2年 | 3年 | 5年 | | 6年 | 9年 | | | － | | － | | － | | | |

（高知県医師養成奨学貸付金受給者の例）

※3.5年間以上は高知市・南国市外での研修を確保する（本人希望や医局の状況にあわせて）。

プログラムの詳細
https://www.kochi-u.ac.jp/kms/sotu5/technical/file/04seishinka_pro.pdf

精神科 HP
http://www.kochi-u.ac.jp/kms/fm_nrpsy/

お問い合わせ↘
〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮185-1
高知大学医学部附属病院　精神科
TEL：088-880-2359　　FAX：088-880-2192
Mail／im28@kochi-u.ac.jp

高知大学医学部附属病院

# 外科



DR.前田に聞きました！
キャリアについて教えて！

消化器外科

## 前田 将宏 DR.

maeda masahiro

Profile
出身大学／高知大学
初期研修病院／近森病院
卒後何年目／7年目
専門分野／消化器外科

**Q 現在の診療科、病院へ進んだきっかけ、働いた感想は？**

A もともと内科系よりは手を動かす機会が多い科を考えていて、学生時代のポリクリで回った外科や外部実習で見た消化器外科手術が魅力的で、自分もやってみたいと思い、消化器外科を志しました。高知大学出身であったことや、地域枠であり、地域の病院へ行く際にも異動がしやすいこともあり高知大学外科学講座に入局しました。学生時代や研修医の時にもお世話になり、医局内の雰囲気がいいことも知っていたことも入局を決めるきっかけになりました。実際に働き始めてからも、学生時代からお世話になっている先生も多く働きやすい環境です。

**Q 卒後から現在まで、卒後10年目以降のキャリアについて教えてください**

A 卒後の初期臨床研修は近森病院で行い、その後高知大学外科に入局しました。入局後は2年間大学病院で研修し、卒後5年目から幡多けんみん病院で研修を積み、卒後6年目に外科専門医を取得しました。7年目から高知大学病院で、大腸分野を中心に日々診療を行いながら研鑽を積んでいます。今後はまず10年目までに消化器外科専門医や内視鏡技術認定医といったサブスペシャルティ資格の習得を目指します。10年目以降は腹腔鏡やロボットといった鏡視下手術をメインに大腸分野での診療を行い、自身の手技を向上させるとともに、後輩医師の指導にも取り組んでいきたいです。

**Q 休日の過ごし方、リフレッシュの仕方は？**

A 当科では、夏休み休暇や年休などはしっかり取るようになっているため、まとまった休暇も取りやすいです。土日も当番制であり、仕事のない週末はゆっくりと休むことができ、趣味のキャンプや旅行などに行ってリフレッシュしています。

**Q 研修医や医学生にアドバイスをお願いします**

A 進路を決めるにあたっては実際にその科での仕事を体験することが重要だと思います。「あの科は～だから…」みたいなイメージだけで選択肢を狭めてしまうのはもったいないと思っていて、実際に体験することで意外とやってみたら楽しかったり、これなら自分でもできそうと思えるかもしれません。逆に自分に合わないなと思ってもそれはそれで気づくことができてよかったし、その体験で得られたことは、他のどこかで使えるかもしれません。研修医では2年間のローテーションの中で少しでも興味のあるところは一通り回ってみるのもいいかもしれません。



## プログラムの特色

「高知家」外科専門研修プログラム（1）

外科専門医の取得を最初の目標としますが、外科専門医取得はプログラムのゴールではなくスタートです。当プログラムでは、高知県の今後の医療を担う腫瘍外科医、救急外科医の育成のみならず、地域診療を担うジェネラリストや臨床と基礎とをつなぐ研究者の育成も目指します。外科専門医取得後のプログラムについては、それぞれの進路希望に最大限配慮できるように個々に立案することとします。

### 専攻医週間スケジュール

| | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 消化器外科 | 午前 | カンファレンス<br>回診、外来、検査、手術 | 手術 | カンファレンス<br>外来、検査 | 手術 | カンファレンス<br>回診、外来、検査、手術 |
| | 午後 | 手術 | 手術 | シミュレーショントレーニング、手術 | 手術 | 手術 |
| | 夕方 | | | 胆膵検討会、肝臓検討会 | 消化管検討会 | NST会議 |
| 小児外科 | 午前 | カンファレンス、手術 | 外来 | カンファレンス、手術 | 外来 | カンファレンス、外来 |
| | 午後 | 手術 | 外来 | | | |
| | 夕方 | カンファレンス、回診 | 回診 | 回診 | 回診 | 回診 |
| 乳腺外科 | 午前 | カンファレンス、外来 | 手術 | カンファレンス、外来 | 手術 | カンファレンス、外来 |
| | 午後 | 外来 | 手術 | 外来 | 手術 | 外来 |

### 取得可能専門医

- 日本外科学会外科専門医
- 日本消化器外科学会専門医
- 日本消化器病学会専門医
- 日本内視鏡外科学会技術認定医
- 日本食道学会食道外科専門医
- 日本乳癌学会乳腺専門医
- 日本小児外科学会専門医
- 日本肝臓学会専門医

### キャリアパス

消化器外科

| 卒後年数 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 | 8年 | 9年 | 10年 | 11年 | 12年 | 13年 | 14年 | 15年 | 16年 | 17年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 初期臨床研修期間 | | | | | 高知家外科専門研修プログラム専攻医 | | | 外科専門医 | | | サブスペシャルティ専門医（消化器外科など） | | | | | |
| 研修施設名 | 高知県下の研修病院 | | 高知大学病院<br>連携施設1～2<br>施設選択 ※ | | | 高知大学病院、幡多けんみん病院<br>高知赤十字病院<br>近森病院、土佐市民病院<br>あき総合病院など<br>サブスペシャリティー研修と償還プランに応じて ※ | | | | 高知大学病院または連携施設など<br>国内留学、海外留学を含めて希望に応じる | | | | | | 高知大学病院など | |
| 診療以外のキャリア | － | － | | | | 大学院（社会人枠）にて学位取得を目指す | | | | | | | | | | | |
| 償還期間<br>消化年数 | 1年 | 2年 | 5年 | | | 9年 | | | | － | | | | | | － | |

（高知県医師養成奨学貸付金受給者の例）　ここに記載したのは一つの例であり、高知家外科専門研修プログラム連携施設の他、国内留学、国外留学など相談に応じて、個別にキャリアパスを組む予定です。
※本人希望や施設における人員数に配慮しながら3.5年間以上は高知市・南国市外での研修が可能となるように調整する。

小児外科

| 卒後年数 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 | 8年 | 9年 | 10年 | 11年 | 12年 | 13年 | 14年 | 15年 | 16年 | 17年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 初期臨床研修期間 | | 小児外科専門研修プログラム専攻医 | | | 外科専門医 | | | | 小児外科専門医 | | | | | | | |
| 研修施設名 | 高知県下の研修病院 | | 高知大学病院 | | 幡多けんみん病院 | | | | 小児外科専門病院（国内留学） | 高知大学病院 | 高知大学病院など | | | | | | |
| 診療以外のキャリア | － | － | | | 大学院（社会人枠）にて学位取得を目指す | | | | 高知大学病院 | | | | | | | | |
| 償還期間<br>消化年数 | 1年 | 2年 | 4年 | | 7.5年 | | | 8年 | － | | 9年 | － | | | | | |

（高知県医師養成奨学貸付金受給者の例）　ここに記載したのは一つの例であり、高知家外科専門研修プログラム連携施設の他、国内留学、国外留学など相談に応じて、個別にキャリアパスを組む予定です。

プログラムの詳細
https://www.kochi-u.ac.jp/kms/sotu5/technical/file/05geka_pro.pdf

外科 HP
http://www.kochi-u.ac.jp/kms/fm_srgr1/

お問い合わせ↘
〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮185-1
高知大学医学部附属病院 外科
TEL：088-880-2370　FAX：088-880-2371
Mail／ im31@kochi-u.ac.jp

高知大学医学部附属病院

# 外科

DR.吉田に聞きました！
キャリアについて教えて！



心臓血管外科

## 吉田 圭佑 DR.

yoshida keisuke

Profile
出身大学／高知大学
初期研修病院／製鉄記念広畑病院
卒後何年目／５年目
専門分野／心臓血管外科

**Q 現在の診療科、病院へ進んだきっかけ、働いた感想は？**

A 学生時代の病院実習で心臓血管外科の手術をみて、かっこいいなと思ったのがきっかけです。初期研修は兵庫県だったのですが、大学時代を過ごした高知に縁あって戻ってくることになりました。現在少数ではありますが、積極的に手術に入りながら、学会参加や論文執筆なども手厚くサポート頂ける恵まれた環境だと思っています。

**Q 卒後から現在まで、卒後10年目以降のキャリアについて教えてください**

A 初期臨床研修は兵庫県の製鉄記念広畑病院で行いました。後期研修を当院で開始し、現在は外科専門医取得に向けて研鑽を積んでいます。
10年目以降については、心臓血管外科専門医の取得ののちに国内・国外留学のチャンスをうかがいつつ、症例経験を重ね、自分が自信をもってできる範囲を少しずつ増やしていければと思います。

**Q 休日の過ごし方、リフレッシュの仕方は？**

A オンコールが1週間単位で交代のため、週末に時間が作れるようになっています。日々の業務が忙しくないこともあり、休日は特になにもせずゆっくりしています。

**Q 研修医や医学生にアドバイスをお願いします**

A 時間がたつにつれて少しずつ求められることも増えてきます。いずれ時間があるときにやろうと思っていることがあれば、今この瞬間に取り組んでください。自戒をこめてですが、明日の自分を助けることになると思います。











## プログラムの特色

「高知家」外科専門研修プログラム（2）

心臓血管外科治療は手術でほとんどが決まります。手術修練を最優先に掲げますが、人生100年時代を掲げる高齢社会。日本における複雑化する循環器疾患に対して、手術治療だけでなく、予防、啓発、術後経過など患者の一生に関われるような全人的診療を行います。増加し続ける弁膜症や大動脈疾患に対して、ガイドラインに基づいた標準治療だけでなく、ステントグラフトや胸腔鏡手術、そしてカテーテル弁膜症治療などの低侵襲手術を積極的に取り入れ、より質の高い医療を提供し患者のニーズに応じ、地域医療に貢献できる心臓血管外科医を育成します。

## 専攻医週間スケジュール

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土・日 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 午　前 | 病棟回診<br>手　術 | 病棟回診<br>外　来 | 病棟回診<br>手　術 | 病棟回診<br>外　来 | 病棟回診<br>循環器カンファレンス<br>手　術 | |
| 午　後 | 手　術<br>処置ほか | 研　究<br>技術トレーニング | 手　術 | 研　究<br>技術トレーニング | 手　術 | |
| 夕　方 | 術前検討会 | 手術勉強会 | | | 手術勉強会 | |

## 取得可能専門医

- 日本心臓血管外科専門医認定機構心臓血管外科専門医
- 脈管学会専門医
- 日本血管外科学会認定血管内治療認定医
- 胸部・腹部ステントグラフ実施医・指導医
- 循環器学会循環器専門医
- 下肢静脈瘤血管内焼灼実施医

## キャリアパス

「高知家」外科専門研修プログラム専攻医
外科専門医
サブスペシャルティ 心臓血管外科専門医
サブスペ連動型2年 心臓血管外科専門医
サブスペ連動型1年 心臓血管外科専門医
学位取得
心臓血管外科修練指導者

| 卒後年数 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 | 8年 | 9年 | 10年 | 11年 | 12年 | 13年 | 14年 | 15年 | 16年 | 17年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 研修施設名 | 初期臨床研修期間<br>高知県下の研修病院 | | 高知大学病院 ※1 | 高知大学病院<br>高知市・南国市以外の外科専門医修練PG連携病院 ※2 | | 県内の心臓血管外科専門医修練認定施設群（高知大学病院、高知医療センター、高知赤十字病院） | | | | 心臓血管外科専門医として高知大学病院を含む基幹病院で勤務<br>もしくは海外臨床留学・ハイボリュームセンターへの国内留学 | | | | | | | |
| | | | 高知大学病院<br>高知市・南国市以外の外科専門医修練PG連携病院 ※2 | | 県内の心臓血管外科専門医修練認定施設群（高知大学病院、高知医療センター、高知赤十字病院） | | | | | 心臓血管外科専門医として高知大学病院を含む基幹病院で勤務<br>もしくは海外臨床留学・ハイボリュームセンターへの国内留学 | | | | | | | |
| 診療以外のキャリア | － | － | | | | | 大学院（社会人枠）にて学位取得を目指す | | | | | | | | | | |
| 償還期間消化年数 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 | 8年 | 9年 | － | | | | | | | |

（高知県医師養成奨学貸付金受給者の例）
※1　希望者には県内の心臓血管外科専門医修練認定施設群（高知大学病院、高知医療センター、高知赤十字病院）での研修も可能。
※2　希望者には1～2年間、高知市・南国市以外の外科専門修練PG連携病院での研修も可能。

プログラムの詳細
https://www.kochi-u.ac.jp/kms/sotu5/technical/file/05geka_pro.pdf

心臓血管外科 HP
http://www.kochi-u.ac.jp/kms/cvs/

お問い合わせ ↘
〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮185-1
高知大学医学部附属病院 心臓血管外科学講座
TEL：088-880-2375　FAX：088-880-2376
Mail／ im32@kochi-u.ac.jp

高知大学医学部附属病院

# 外科



DR.古川に聞きました！
キャリアについて教えて！

呼吸器外科

## 古川 直紀 DR.

furukawa naoki

Profile
- 出身大学／高知大学
- 初期研修病院／高知医療センター
- 卒後何年目／3年目
- 専門分野／呼吸器外科

**Q 現在の診療科、病院へ進んだきっかけ、働いた感想は？**

A 大学4年生になるまでは何科に進むかは決まっていませんでした。5年生になり学生実習で手術を見学し外科に興味を持つようになりました。研修医になり、高知大学の呼吸器外科で研修した際に、実際に手術を執刀させていただき、呼吸器外科の手術に魅力を感じ呼吸器外科を選択しました。実際に働いてみると、医局の人数が少ない分手術のチャンスが回ってくることが多く、上級医の先生方も優しく熱心に指導してくださっています。

**Q 卒後から現在まで、卒後10年目以降のキャリアについて教えてください**

A 高知大学卒業後、高知医療センターで初期研修を行い、3年目から高知大学統合外科に入局しました。現在は外科専門医取得に向けて日々研鑽を積んでいます。外科専門医取得には心臓血管外科や小児外科、乳腺外科など多くの手術の経験が必要なため、色々な科をローテートしています。

10年目以降は呼吸器外科専門医を取得し手術手技向上のために他施設でも修練できればと考えています。

**Q 休日の過ごし方、リフレッシュの仕方は？**

A 休日は当番制になっているため、当番でない日は呼び出しもなく、オンオフがはっきりしています。長期休暇も取りやすいと思います。

休日は読書をしたり、映画を見たりして過ごしています。

**Q 研修医や医学生にアドバイスをお願いします**

A 学生時代の実習は漫然と過ごすのではなく、多くの分野に興味を持って実習することが大事だと思います。初期研修の病院を決める際にはその病院で働いている研修医の話を実際に聞いてみることが重要だと思います。どの科に進むとしても研修医の時に学んだことは非常に役立つので、研修医の時は興味の幅を広く持ち、色々な科を回ってみることをお勧めします。







## プログラムの特色

「高知家」外科専門研修プログラム（3）

呼吸器外科は様々な胸部疾患を外科的に治療し、外科領域の中でも手術治療の需要が年々増加しているサブスペシャリティ領域です。基幹病院である高知大学医学部附属病院では年間約200例の呼吸器外科手術を行っています。私たちの研修プログラムではまず卒後3-6年目までに統合外科の一員として消化器外科、心臓血管外科など他の外科と協力して効率的に手術経験を蓄積し、日本外科学会専門医の取得を目指します。いわゆる地域枠の専攻医にも償還条件をクリアしつつ専門医を取得できるよう県内の大学内外の病院と連携していきます。並行してサブスペシャルティとして呼吸器外科の経験を積み、呼吸器外科専門医を取得してもらいます。手術研修では早期から術者として完全胸腔鏡下手術や開胸手術を経験してもらいます。またいわゆるacademic surgeon目指す上で、より深く外科治療研究を学ぶために大学院博士課程への進学も歓迎します。専攻医の皆さんがこのプログラムを通じて、高度な外科治療を提供できる技術と専門知識、生涯成長を続けていくための学びの手法、そして患者さんから生命を預かる上で大切な信頼される人間性を育むため指導医一同全力でサポートしていきます。情熱あふれる皆さんの参加をお待ちしております。

### 専攻医週間スケジュール

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|
| 午　前 | 手　術 | 回診<br>気管支鏡検査 | 手　術 | 外　来 | 外　来 |
| 午　後 | 手　術 | 病棟処置 | 手　術 | 病棟処置 | 病棟処置 |

### 取得可能専門医

●日本外科学会外科専門医　●呼吸器外科専門医合同委員会呼吸器外科専門医　●呼吸器外科ロボット支援手術実施医

### キャリアパス

「高知家」外科専門研修プログラム専攻医
初期研修中の経験症例を外科専門医取得に用いる
外科専門医
外科専門研修中の症例をサブスペ専門医取得に用いる
サブスペシャルティ呼吸器外科専門医
学位取得

| 卒後年数 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 | 8年 | 9年 | 10年 | 11年 | 12年 | 13年 | 14年 | 15年 | 16年 | 17年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 初期臨床研修期間 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 研修施設名 | 高知県下の研修病院 | | 高知大学病院、あき総合病院、幡多けんみん病院、土佐市民病院ほか | | | | 高知大学病院を含む基幹病院に勤務し、呼吸器外科専門医を目指す | | | 呼吸器外科専門医として、高知大学病院を含む基幹病院に勤務 | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | 県外医療機関での国内留学・海外留学 | | | | | | | |
| 診療以外のキャリア | － | － | | | | 大学院（社会人枠）にて学位取得を目指す | | | | | | | | | | | |
| 償還期間消化年数 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 | 8年 | 9年 | － | | | | | | | |

※ここに記載したのは一つの例であり、高知家外科専門研修プログラム参加施設の他、国内留学、国外留学など相談に応じて、個別にキャリアパスを組む予定です。

（高知県医師養成奨学貸付金受給者の例）

プログラムの詳細
https://www.kochi-u.ac.jp/kms/sotu5/technical/file/05geka_pro.pdf

呼吸器外科 HP
http://www.kochi-u.ac.jp/kms/thorac22/

お問い合わせ↘
〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮185-1
高知大学医学部附属病院　呼吸器外科
TEL：088-888-0414　FAX：088-888-0421
Mail／ im84@kochi-u.ac.jp

## プログラムの特色　高知大学整形外科専門研修プログラム

大学病院と連携施設ではシームレスな教育体制を整えており、プライマリ・ケアや地域医療から最先端の医療や研究まで幅広い学習が可能です。この研修プログラムを修了した専攻医は、あらゆる運動器に関する科学的知識と高い社会的倫理観を備え、さらに、進歩する医学の新しい知識と技能を修得できるような幅広い基本的な臨床能力（知識・技能・態度）が身についた整形外科専門医となることができます。

### 専攻医週間スケジュール

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|
| 午　前 | 外来、検査 | 外　来 | 手術、病棟業務 | 外　来 | 手術、病棟業務 |
| 午　後 | 総回診 | 手術、病棟業務 | 手術、病棟業務 | 検　査 | 手術、病棟業務 |

### 取得可能専門医

- 手外科
- 脊椎脊髄外科
- リウマチ
- スポーツドクター
- 骨粗鬆症
- 人工関節

### キャリアパス

整形外科専門研修プログラム専攻医（1年目〜2年目）／整形外科専門医（7年目〜）／サブスペシャルティ 手外科専門医、脊椎脊髄外科専門医、リハビリテーション専門医など（12年目〜）

| 卒後年数 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 | 8年 | 9年 | 10年 | 11年 | 12年 | 13年 | 14年 | 15年 | 16年 | 17年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 初期臨床研修期間 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 研修施設名 | 高知県下の研修病院 | | 高知大学病院 | 幡多けんみん病院<br>あき総合病院<br>土佐市民病院<br>くぼかわ病院<br>須崎くろしお病院<br>のいずれか２～３病院 | | | 高知大学病院 | | | 高知大学病院 | | 海外留学<br>または<br>国内留学 | 高知大学病院など | | | |
| 診療以外のキャリア | － | － | | | | | | 大学院（社会人枠）にて学位取得を目指す | | | | | | | | | |
| 償還期間<br>消化年数 | 1年 | 2年 | 3年 | 6.5年 | | | 9年 | | | － | | － | | － | | | |
| 研修施設名 | 高知県下の研修病院 | | 高知大学病院 | 幡多けんみん病院<br>あき総合病院<br>土佐市民病院<br>くぼかわ病院<br>須崎くろしお病院<br>のいずれか２～３病院 | | | 高知赤十字病院<br>細木病院<br>愛宕病院<br>海里マリン病院<br>のいずれか1～2病院 | | | 高知大学病院など | | | | | | | |
| 償還期間<br>消化年数 | 1年 | 2年 | 3年 | 6.5年 | | | 9年 | | | － | | | | | | | |

（高知県医師養成奨学貸付金受給者の例）





プログラムの詳細
https://www.kochi-u.ac.jp/kms/sotu5/technical/file/06seikeigeka_pro.pdf

整形外科 HP
http://www.kochi-u.ac.jp/kms/fm_ortop/index.html

お問い合わせ↘
〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮185-1
高知大学医学部附属病院　整形外科
TEL：088-880-2386　　FAX：088-880-2192
Mail／im35@kochi-u.ac.jp



高知大学医学部附属病院
# 整形外科

DR.森本に聞きました！
キャリアについて教えて！



整形外科
森本 暢 DR.
morimoto toru

Profile
- 出身大学／高知大学
- 初期研修病院／高知大学医学部附属病院、近森病院（たすき掛け）
- 卒後何年目／10年目
- 専門分野／肩関節

**Q 現在の診療科、病院へ進んだきっかけ、働いた感想は？**

A 学生の頃から、外科系の医師になろうと思っていました。学生実習、初期研修と過ごしていく中で手術の面白さに惹かれたこともありますが、私も小学生から野球をしており、何らかの形でスポーツと関わりを持った仕事をしたいと思い、趣味の領域が実際の仕事にも繋がるような整形外科を選びました。

大学病院での勤務は2回目となります。1回目に勤務した時は整形外科になりたての時であり、右も左も分からない状況でしたが、2回目は後輩もでき、少しは余裕も出てきたのかなと思います。また、2020年より大学院に進学し、臨床・研究と時間を作ることに苦労はしていますが、充実した日々を送っています。外科系の診療科は忙しいと言うイメージもあるかとは思いますが、働き方改革の影響もあり、明らかに無駄な雑用は減少しており、徐々に働き易い職場環境になってきているのかなと思います。

**Q 卒後から現在まで、卒後10年目以降のキャリアについて教えてください**

A 2年間の初期臨床研修を終えた後は、1年間は大学病院で勤務をしており、主に慢性疾患の担当医として各疾患について学ばせて頂きました。4、5年目は高知県立あき総合病院で勤務をし、主に外傷疾患を中心に様々な疾患について学ばせて頂きました。6年目に大学病院へ戻り、肩肘関節疾患を専門に担当し、専門医も取得することができました。更に、整形外科になったきっかけにもなったスポーツに関しても2021年にスポーツドクターの資格を取得しました。臨床面では、最近は自身に紹介された患者さんを診察し、自分で手術を行い、術後経過も自身でフォローすることも増え、徐々に自分でできる事が増えてきているように実感しています。

まだ明確には意識できていませんが、専門医も取得し、学位論文のアクセプトが決まり、大学院の卒業の目処も付きました。来年度には国内留学、海外留学を予定しており、また新たな世界を広げる事ができると思い、ワクワクしております。この仕事の良いところは自分次第ではありますが、新たなことに挑戦することで常に何らかの刺激を受けることができる事かなと思っています。

**Q 休日の過ごし方、リフレッシュの仕方は？**

A 元々スポーツが好きなので未だに軟式野球のクラブチームに所属しておりしており、都合が合う時には試合に参加しています。医師になってからマラソンを始めました。現在までに6回フルマラソンにも参加しています。

**Q 研修医や医学生にアドバイスをお願いします**

A 学生の時に考えていたことは研修医になり、実際に経験してみると考え方が変わることは多々あると思います。だからこそ、興味を1つのことに絞らず、多くのことを経験してみようとしていた方が良いように思います。

高知大学医学部附属病院

# 産婦人科



DR.大黒に聞きました！
キャリアについて教えて！

産科婦人科

## 大黒 太陽 DR.

oguro taiyo

Profile

出身大学／高知大学
初期研修病院／高知大学医学部附属病院
卒後何年目／9年目
専門分野／周産期

**Q 現在の診療科、病院へ進んだきっかけ、働いた感想は？**

**A** 元々産婦人科には興味があり、実習でみた診療内容や指導医の先生に惹かれました。患者さんにおめでとうと言える魅力や周産期と婦人科腫瘍の奥深さ面白さが相まって産婦人科医になることを決めました。

高知出身かつ地域枠だったこと、高知大学産婦人科の先生方によくしていただいたこと、一緒に仕事をしたい上司がいたことが入局決定の理由です。大学病院産婦人科はしっかりと教育指導する体制があると感じ、産婦人科医の一歩を踏み出すいい環境があるとも考えました。入局前の予想通り忙しめの毎日ですが、とてもやりがいが強く日々充実しています。右も左もわからない状態からできることが少しずつ増え、後輩もでき、いい意味で責任感を持って仕事できています。

**Q 卒後から現在まで、卒後10年目以降のキャリアについて教えてください**

**A** 初期研修は高知大学医学部附属病院で行いました。自分自身でしっかりインプットアウトプットできるのが大学病院と考えました。自由選択が多い部分も決め手でした。産婦人科専攻医としては、大学を基幹に愛媛県新居浜市のこにしクリニックで3ヶ月分娩研修、6ヶ月高知医療センター、3ヶ月幡多けんみん病院で研修しました。どの施設でも大学病院とは違う経験ができとても勉強になりました。高知大学は入局してすぐに分娩研修（3ヶ月で100例）に行くことができることが強みです。医師6年目の専門医試験後に産婦人科専門医を取得、7年目に母体保護法指定医を取得し、8年目に日本産婦人科遺伝診療学会認定医を取得しました。産婦人科のサブスペは周産期、婦人科腫瘍、生殖内分泌、女性ヘルスケアがありますが、私は周産期を選択しました。現在周産期専門医及び超音波専門医取得を目標に、研鑽を積んでいます。

その後は開業を考えており、後々は地域医療を支えていく予定です。開業後は自分自身が描く理想的な産婦人科診療を提供したいと考えています。4月からは国内留学を予定しています。

**Q 休日の過ごし方、リフレッシュの仕方は？**

**A** あまり休みがないイメージがあるかもしれませんがグループ診療、当番制で交代に休息をとっています。非番の日は飲みに行ったり、趣味など好きなことをして自由に過ごしています。夏休み、年末年始、GWなどはまとまった休みをとれるため、コロナ前は海外も含めよく旅行に行っていました。普段の休日は妻と買い物やお茶をしに行くことが多いです。

**Q 研修医や医学生にアドバイスをお願いします**

**A** 産婦人科は守備範囲が広く勉強すればするほど面白いです。少しでも興味があればいつでも声をかけてください。先生でよかった。また次もお産をとってほしいと言われる時の喜びは他では得られませんよ。また、ワークライフバランスも大事ですのでほどよいところで頑張ってください。







## プログラムの特色　高知大学産婦人科専門研修プログラム

高知大学病院産科婦人科を基幹施設とし、県内外の連携施設と研修施設群を形成しています。連携施設は、分娩の多い施設や県・地域の中核病院で構成しています。各々専門的で特徴的な診療を行っており、施設群をローテートすることで充実した医療を経験できるよう計画しています。そして、周産期・生殖医療・腫瘍・女性ヘルスケア領域全てで高い質の医療を提供できる専門医の育成を目指します。指導医も施設間で連携し、医療レベルの向上を図り専攻医に質の高い研修を提供します。

### 専攻医週間スケジュール

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|
| 午　前 | 8:30～ 病棟 | 8:30～ 病棟 | 8:30～ 病棟 | 8:30～ 病棟 | 8:30～ 病棟 |
| | 9:00～ 外来 | 9:00～ 外来 | 手　術 | 9:00～ 外来 | 手　術 |
| 午　後 | 病　棟 | 13:00～ 特殊検査 | | 病　棟 | |
| | 14:00～ 回診・カンファレンス | 病　棟 | | | |
| 夕　方 | | 17:00～ ミーティング | 17:00～ ミーティング | 17:00～ カルテ回診 | 17:00～ ミーティング |
| | | 17:30～ 周産期カンファレンス | | | |

### 取得可能専門医

- 日本周産期・新生児医学会 母体・胎児専門医
- 日本生殖医学会 生殖医療専門医
- 日本超音波医学会 超音波専門医
- 日本女性医学学会 女性ヘルスケア専門医
- 日本産科婦人科内視鏡学会 技術認定医
- 日本人類学遺伝学会／日本遺伝カウンセリング学会 臨床遺伝専門医

### キャリアパス

産婦人科専門研修プログラム専攻医
産婦人科専門医
サブスペシャルティ
日本周産期・新生児医学会 母体・胎児専門医
日本婦人科腫瘍学会 婦人科腫瘍専門医
日本生殖医学会 生殖医療専門医
日本女性医学学会 女性ヘルスケア専門医
産婦人科指導医

| 卒後年数 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 | 8年 | 9年 | 10年 | 11年 | 12年 | 13年 | 14年 | 15年 | 16年 | 17年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 初期臨床研修期間 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 研修施設名 | 高知県下の研修病院 | | 高知大学病院、高知医療センター<br>幡多けんみん病院、あき総合病院<br>高知ファミリークリニック<br>こにしクリニック※1、松岡病院※1<br>高知大学病院以外は、<br>6カ月ごとに3～4施設 | | | | 高知大学病院<br>高知医療センター<br>幡多けんみん病院<br>あき総合病院<br>高知大学病院以外は、1施設1年間 | | | | 海外留学<br>または<br>国内留学 | | 高知大学病院など | | | | |
| 診療以外のキャリア | － | － | 大学院（社会人枠）にて学位取得を目指す | | | | | | | | | | | | | | |
| 償還期間消化年数 | 1年 | 2年 | 6年 | | | | 9年 | | | ※2 | － | | － | | | | |

（高知県医師養成奨学貸付金受給者の例）

※1　こにしクリニック（愛媛県新居浜市）、松岡病院（広島県福山市）での研修期間は償還免除の対象外となる。
※2　3～5年に こにしクリニック又は松岡病院の場合、期間に応じて償還期間は延長される。







プログラムの詳細
https://www.kochi-u.ac.jp/kms/sotu5/technical/file/07sankafujinka_pro.pdf

産科婦人科 HP
http://www.kochi-u.ac.jp/kms/fm_obstr/

お問い合わせ ↘
〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮185-1
高知大学医学部附属病院　産科婦人科
TEL：088-880-2383　　FAX：088-880-2384
Mail／im34@kochi-u.ac.jp

高知大学医学部附属病院

# 眼　科

DR.三浦に聞きました!
キャリアについて教えて!





眼科

## 三浦 悠作 DR.

miura yusaku

Profile

出身大学／高知大学
初期研修病院／高知大学医学部附属病院
卒後何年目／16年目
専門分野／眼科

**Q 現在の診療科、病院へ進んだきっかけ、働いた感想は？**

A 繊細で美しい硝子体手術に惹かれました。地元高知で勤務したかったため大学病院に決めました。医局の人数が少ない分、多くの執刀が可能であり、この病院に勤務して良かったと思っています。

**Q 卒後から現在まで、卒後10年目以降のキャリアについて教えてください**

A 2009年から高知大学病院で初期研修、2011年高知大学眼科入局。2017年から広島大学へ国内留学後、2019年高知大学眼科に復職し現在に至ります。10年目以降は中堅になり出来ることも増えてきます。大学で勤務を続けるか、市中病院で勤務医をするか、開業をするか。選択肢が多くなり悩ましくもあります。

**Q 休日の過ごし方、リフレッシュの仕方は？**

A 船に乗って釣りをしたり、キャンプをしてリフレッシュしています。

**Q 研修医や医学生にアドバイスをお願いします**

A 何科になるかを決めた際に、さらにその科の中でもより専門にしたい分野を見つけ、その分野に強い病院や大学を積極的に探して就職するべきだと思います。











## プログラムの特色　高知大学眼科専門研修プログラム

高知県の医療圏は、安芸、中央、高幡、幡多の4つの二次医療圏に分けられます。医療資源の多くが中央医療圏に集中し、他の二次医療圏は眼科医不足、特に若い眼科医の人数が極めて少ない現状です。高知大学眼科専門研修プログラムを作成するに当たって留意した点は、このプログラムが高知県下の眼科医の偏在を助長することなく、公平性を担保し、眼科専門研修の目標を達成できるよう、作成・運用されることです。本プログラムは、高知県下の多くの医療機関が参加することにより、専攻医が希望する地域にある連携施設での研修が可能であり、高度医療から地域医療まで幅広く研修することにより、眼科専門医としての自身の成長を強く支援します。

### 専攻医週間スケジュール

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 朝 | 病棟回診 | 病棟回診 | 症例カンファレンス<br>病棟回診 | 症例カンファレンス<br>病棟回診 | 病棟回診 | 病棟回診 |
| 午　前<br>(9時～12時) | 手　術 | 外　来 | 外　来 | 外　来 | 手術・専門外来 | |
| 午　後<br>(12時～17時) | 手術・特殊検査 | 専門外来 | 外　来 | 外　来 | 手術・専門外来 | |
| 夜<br>(18時～19時) | | | 研究<br>カンファレンス | | | |

### 取得可能専門医

- アレルギー専門医

### キャリアパス

| 卒後年数 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 | 8年 | 9年 | 10年 | 11年 | 12年 | 13年 | 14年 | 15年 | 16年 | 17年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 初期臨床研修期間 | | 眼科専門研修プログラム専攻医 | | | | 眼科専門医 | | | | 眼科指導医 | | | | | | |
| 研修施設名 | 高知県下の研修病院 | | 高知大学病院 | あき総合病院<br>須崎くろしお病院<br>のいずれか | | 高知大学病院 | 幡多けんみん病院<br>くぼかわ病院<br>渭南病院<br>あき総合病院<br>須崎くろしお病院<br>のいずれか | | 高知大学病院 | | | 海外留学<br>または<br>国内留学 | | 高知大学病院など | | | |
| 診療以外のキャリア | － | － | 大学院(社会人枠)にて学位取得を目指す | | | | | | | | | | | | | | |
| 償還期間<br>消化年数 | 1年 | 2年 | 3.5年 | | 5年 | 6年 | 8年 | | 9年 | － | | － | | － | | | |

（高知県医師養成奨学貸付金受給者の例）



プログラムの詳細
http://www.kochi-u.ac.jp/kms/sotu5/technical/file/H31_08ganka_program.pdf

眼科 HP
https://kochi-eye.jp

お問い合わせ↘
〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮185-1
高知大学医学部附属病院　眼科
TEL：088-880-2391　　FAX：088-880-2392
Mail／im36@kochi-u.ac.jp

高知大学医学部附属病院

# 耳鼻咽喉科

DR.中平に聞きました！
キャリアについて教えて！



耳鼻咽喉科・頭頸部外科

## 中平 雅弓 DR.

nakahira mayu

Profile

出身大学／高知大学
初期研修病院／高知大学医学部附属病院
卒後何年目／８年目
専門分野／耳鼻咽喉科、一般

**Q 現在の診療科、病院へ進んだきっかけ、働いた感想は？**

**A** もともと手を動かす作業が得意だったので外科方面に進みたい気持ちがありました。研修医の時に救急科をローテートしていた際、緊急気道確保が必要な場面に出くわしたことがあり、それ以来気道管理ができるようになりたいという気持ちが強くなり、気管周囲の手術も行うことのできる耳鼻咽喉科に進むことを決めました。

当院は母校であるという点や、県内で耳鼻咽喉科を研修する上で中心となる施設を考えて選択しました。実際後期研修の期間でcommon diseaseからかなりめずらしい疾患まで幅広く経験できたと思います。

**Q 卒後から現在まで、卒後10年目以降のキャリアについて教えてください**

**A** 初期研修、その後の後期研修も高知大学を中心として研修させていただきました。4年間の後期研修を経て今年念願の耳鼻咽喉科専門医資格を取得しました。

みみ、はな、のどで解剖や生理学も全然別物で、各分野まだまだ理解が足りないと感じることも多くまだ耳鼻科のサブスペシャルティを決めきれないでいます。今後は大学病院や市中病院の勤務を中心として、外来診療や手術の経験値を積んでいく中で自分の進むべき専門分野を決めていけたらと思っています。

**Q 休日の過ごし方、リフレッシュの仕方は？**

**A** 診療科としては年に2回、1週間ずつの休暇を取得できます。私は旅行やアウトドアスポーツが好きなので、長期休暇には国内や海外の旅行をしたりたまにダイビングなどへ出かけたりして思いきりリフレッシュをしています。

**Q 研修医や医学生にアドバイスをお願いします**

**A** 少しでも興味の持てるものがあれば遠慮せずどんどん手を出すことをお勧めします。実際にいろいろと手を出してまずは経験してみることが大事かと思います。







## プログラムの特色

高知大学医学部附属病院耳鼻咽喉科専門研修プログラム

耳鼻咽喉科・頭頸部外科領域の疾患は小児から高齢者まで幅広い年齢層を対象とし、外科的治療のみならず内科的治療も必要とすることから、幅広い医学的知識と医療技能の修得が求められています。本プログラムでは、中耳炎・副鼻腔炎やめまい・難聴といった一般的疾患から、頭頸部がん、音声障害や嚥下機能障害などサブスペシャルティの疾患まで、その分野の専門の指導医を通して幅広く学ぶことができます。また、基礎的・臨床的研究を行い、学会発表や論文作成などを通して科学者としての能力を伸ばすことができます。



### 専攻医週間スケジュール

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|
| 午　前 | 外来<br>病棟業務 | 手　術 | 外来<br>病棟業務 | 手　術 | 外来<br>病棟業務 |
| 午　後 | 症例カンファレンス<br>病棟回診 | 手　術 | 外来<br>病棟業務 | 手　術 | 外来<br>病棟業務 |
| | 放射線カンファレンス<br>（隔週） | 医局会・抄読会 | | 嚥下障害症例<br>カンファレンス | |

※医療安全、感染対策、医療倫理に関する講習会にそれぞれ年2回以上出席する
※月1回の音声・言語・嚥下勉強会（院内開催）。月1回の放射線画像カンファレンスに参加する
※年2回の頭頸部がん勉強会（院内開催）に参加する

### 取得可能専門医

- 日本気管食道科学会認定気管食道科専門医
- 日本頭頸部外科学会頭頸部がん専門医

### キャリアパス

耳鼻咽喉科専門研修プログラム専攻医
耳鼻咽喉科専門医
気管食道科専門医 頭頸部がん専門医
耳鼻咽喉科指導医

| 卒後年数 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 | 8年 | 9年 | 10年 | 11年 | 12年 | 13年 | 14年 | 15年 | 16年 | 17年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 初期臨床研修期間 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 研修施設名 | 高知県下の研修病院 | | 高知大学病院 | 高知医療センターまたは高知大学病院 | あき総合病院または土佐市民病院 | 高知大学病院 | | あき総合病院<br>幡多けんみん病院<br>土佐市民病院<br>のいずれか | | 高知大学病院または関連病院など<br>希望者には国内外への留学 | | | | | | 高知大学病院など | |
| 診療以外のキャリア | － | － | | | | 大学院（社会人枠）にて学位取得を目指す | | | | | | | | | | | |
| 償還期間消化年数 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6.5年 | － | 9年 | | | － | | | | | － | |

（高知県医師養成奨学貸付金受給者の例）





プログラムの詳細
https://www.kochi-u.ac.jp/kms/sotu5/technical/file/09jibiinkoka_pro.pdf

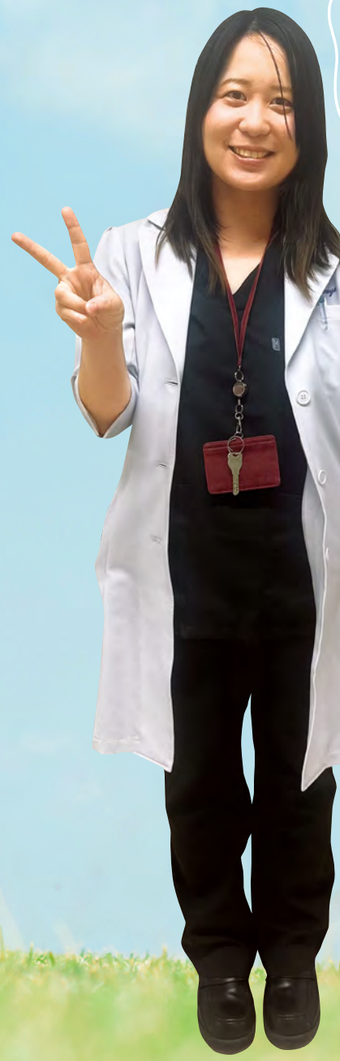
耳鼻咽喉科 HP
https://kochi-ent.jp

お問い合わせ↘
〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮185-1
高知大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科
TEL：088-880-2393　FAX：088-880-2395
Mail／ im37@kochi-u.ac.jp

高知大学医学部附属病院

# 泌尿器科

DR.安宅に聞きました！
キャリアについて教えて！



泌尿器科
安宅 香弥 DR.
atagi kaya

Profile
出身大学／高知大学
初期研修病院／高知大学医学部附属病院
卒後何年目／9年目
専門分野／泌尿器一般 女性泌尿器

**Q 卒後から現在まで、卒後10年目以降のキャリアについて教えてください**

A 高知大学卒後にそのまま大学病院で初期研修を行いました。初期研修了後に泌尿器科専門医プログラムに入り後期研修を行いました。入局後は4年間後期研修医として修学し、経尿道的な手術だけではなく腹腔鏡やロボットの手術にも取り組んでいます。今年5年目で無事専門医試験に受かり泌尿器科専門医となりました。

泌尿器科医として一人前に働くのはもちろんですが、泌尿器科には小児、女性泌尿器、透析などｅｔｃ…多くのサブスペシャルティがあります。個人的には女性泌尿器領域に興味があり、最近ではロボット手術にも携わっておりますので、今後も鍛錬を重ねて高知の患者様に還元出来たらと考えております。また、泌尿器科領域は新しい薬物治療がどんどん出てきておりますので内科的な面も面白い分野だと思います。

**Q 現在の診療科、病院へ進んだきっかけ、働いた感想は？**

A 私は高知大学で初期研修を行い、研修中に2回出産をしているので本来2年で終わる研修が4年かかりました。専門医の取得時期やお給料のこと（笑）、子育て両立の研修のシステムと考える事が多くギリギリまで決められませんでした。外科系は忙しく大変…というイメージがあり、手術は楽しいけど敷居の高さを感じてしまい、内科の専攻を考えていました。ただ、研修を行う中で先輩の女性外科医も子育てと仕事を両立しながら働く姿も見ましたし、困ったときには的確なアドバイスをくれたので外科系でも働けるかもと考え始めました。そう考える中で、たまたま泌尿器科を回ったときに今の井上教授から「うちには女性医師がいないけどサポートもするので考えてみて欲しい。」と言われて初めて泌尿器科の専攻を考えました。そして今では女性泌尿器科医は、私を含めて4名になり楽しく仕事をしています。

自分の出身大学という安心感と子育てしながらでも助けてくれる人がたくさんいるというのが一番の理由です。他科は分からないですが、泌尿器科は働きやすいと思います。

**Q 休日の過ごし方、リフレッシュの仕方は？**

A 確かに日々の仕事は忙しいですが、リフレッシュ休暇や有休は取得しやすい雰囲気があります。それは井上教授が「しっかり働く代わりにしっかり休んで自分のキャリアを形成していきなさい。」という事を示してくれているからです。昔みたいに根性、努力、忍耐の時代ではありませんし、コストパフォーマンス良く仕事を行う事も大切です。疲れていては良いパフォーマンスはできないと思います。

**Q 研修医や医学生にアドバイスをお願いします**

A どこで研修するか、何科を選択するかというのは研修医や医学生にとってとても大きな問題と思います。専攻科は人生の基軸となる一項目と思うのでよく考えて自分の行きたい、やりたいと思うことをするという選択をお勧めします。

泌尿器は本当に幅広い分野に渡っていて、薬物加療を中心とした内科から手術など外科的な事まで多くの選択肢があります。手術手技も若手からベテランまでレベル難易度も多種多様です。上の先生方も優しい方が多いですし、男女問わず皆さんの「やりたい！」を応援してくれるところなので、手術が好き！な人もそうでない人も是非興味を持って欲しいです。

休日は旅行が好きなので子供を連れて旅行に行きます。今年は初めて子供たちとフランスに行ってきました!!







## プログラムの特色 | 高知大学医学部泌尿器科専門研修プログラム

高知大学医学部泌尿器科専門研修プログラムは高知大学医学部附属病院を基幹施設に、連携施設としては基幹型臨床研修病院（拠点教育施設）と地域医療を担う協力型臨床研修病院（関連教育施設）の2群から構成されています。泌尿器科専門医に必要な知識や技能の習得とともに、他の専門診療科を含む地域医療との連携も行える能力を身につけることができるよう配慮しました。また、専門研修後には、より高い臨床実施能力の獲得を目指す臨床重点コース、学術的な涵養を目的とした大学院進学コース、高知大学医学部地域枠を卒業し地域医療での義務年限を前提とした地域医療コースの3つから選択することが可能です。

### 専攻医週間スケジュール

| | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 午前 | 7:30～ | － | － | － | － | － |
| | 8:30～ | 手　術 | | | 手　術 | |
| | 9:00～ | | 外来診察・入院患者処置 | 外来診察・入院患者処置 | | 外来診察・入院患者処置 |
| 午後 | 13:00～ | 手　術 | 外来診察・入院患者処置 | 外来診察・入院患者処置 | 手　術 | 外来診察・入院患者処置<br>低侵襲手術教育トレーニングセンターでのhands-on-training |
| | 17:00～ | | | 泌尿器科症例カンファレンス | | |
| | 17:30～ | | | | | |

bed-sideや実際の手術での実地修棟（on-the-jobtraining）に加えて、広く臨床現場での学習を重視します。

### 取得可能専門医

- 泌尿器腹腔鏡技術認定医
- がん治療認定医
- 透析医学会専門医・指導医
- 臨床遺伝専門医・指導医

### キャリアパス

泌尿器科専門研修プログラム専攻医 → 泌尿器科専門医 → 泌尿器科指導医

| 卒後年数 | 1年 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 | 8年 | 9年 | 10年 | 11年 | 12年 | 13年 | 14年 | 15年 | 16年 | 17年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 研修施設名 | 初期臨床研修期間<br>高知県下の研修病院 | 高知大学病院 | 近森病院<br>国立高知病院<br>高知医療センターのいずれか | | 高知大学病院 | 幡多けんみん病院<br>あき総合病院<br>土佐市民病院<br>のいずれか1～2病院 | | | 高知大学病院 | | 海外留学<br>または<br>国内留学 | | 高知大学病院など | | | |
| 診療以外のキャリア | － － | 幡多けんみん病院<br>あき総合病院<br>土佐市民病院のいずれか | | | 大学院（社会人枠）にて学位取得を目指す | | | | | | | | | | | |
| 償還期間<br>消化年数 | 1年 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6.5年 | 9年 | | | － | | － | | － | | | |

（高知県医師養成奨学貸付金受給者の例）

プログラムの詳細
http://www.kochi-u.ac.jp/kms/sotu5/technical/file/H30_10hinyokika_program.pdf

泌尿器科 HP
http://www.kochi-u.ac.jp/kms/hs_urol/index.html

お問い合わせ↘
〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮185-1
高知大学医学部附属病院 泌尿器科
TEL：088-880-2402　FAX：088-880-2192
Mail／urology@kochi-u.ac.jp

高知大学医学部附属病院

# 脳神経外科



DR.川村に聞きました！
キャリアについて教えて！

脳神経外科
川村 貴子 DR.
kawamura takako

Profile
出身大学／高知大学
初期研修病院／高知医療センター
卒後何年目／3年目
専門分野／脳神経外科

**Q 現在の診療科、病院へ進んだきっかけ、働いた感想は？**

A 学生のときに開頭の手術を見学する機会があり、脳が拍動しているのを見て、生命の美しさに感動したことがきっかけです。思考や行動を司る臓器に直接アプローチすることにプレッシャーもありますが、とても魅力を感じています。初期研修医のときに高知大学脳神経外科を研修した際、他の施設と比べて色々な手技を若手のうちから積極的にやらせていただける環境だと思い、入局を決意しました。同期はいなかったので最初は不安な気持ちが強かったのですが、先輩方にご指導いただきながら、症例を片っ端から経験できたことで充実した研修生活を送れています。

**Q 卒後から現在まで、卒後10年目以降のキャリアについて教えてください**

A 初期研修は高知医療センターで、3次救急対応を中心に学ばせていただきました。脳卒中の患者さんが来たときにいかに迅速に治療までつなげるか、意識しながら研修していました。3年目は高知大学脳神経外科教室に入局し、直達手術や血管内治療など多種多様な症例を経験させていただきました。基本的に脳神経外科の救急対応、手術（直達、血管内）の助手、症手術の執刀、病棟対応などを中心に行っています。今後は、県内、県外の関連病院で研修を行い、卒後7年目に専門医試験を受験予定です。その後は血管内、直達手術の二刀流術者を目指したいと思っています。

**Q 休日の過ごし方、リフレッシュの仕方は？**

A 初期研修のときほどではないですが、休暇は取れています。平日の溜まった疲れをサウナやお酒で流す休日を送っています（笑）

**Q 研修医や医学生にアドバイスをお願いします**

A 脳神経の異常があれば全身にその不調が現れます。私たちは、脳神経を直接扱うとはいえ、全身を診る総合診療的な視点も大事にしています。脳神経外科に興味がある方はもちろんですが、内科を考えている方も一度は脳神経外科を研修してみてはいかがでしょうか。見学や研修のタイミングとしては、救急対応がたくさん見たい方は冬場、予定手術症例を一つずつゆっくり噛みしめたい方は夏場がおすすめです。いつでもお待ちしています！







## プログラムの特色　高知大学医学部附属病院脳神経外科専門医コース

初期研修修了後、脳神経外科専門医を目指すには、脳神経外科学会が認定する基幹病院（大学病院や大都市の大病院が中心）が計画する脳神経外科研修プログラムに参加する必要があります。高知大学脳神経外科はプログラムを主催する基幹病院であり、本院を拠点に広い地域での研修先選択が可能で、高知県内はもちろんのこと、札幌から福岡まで世界トップの施設で研修を受けることが可能となっています。臨床研修修了後、最低4年間は脳神経外科専従医師としてこれらの病院で脳神経外科指導医の資格を持つ専門医から研修を受けることが、脳神経外科専門医試験を受験する資格となっています。また、本院のもう一つの特徴は、脳神経領域の基礎、臨床研究も十分に行えることです。この間、学位取得を目指すことも可能です。我々のプログラムでは専門医取得後、脳腫瘍、脳卒中、血管内治療、神経内視鏡などさまざまなサブスペシャルティ専門医取得に向け、多くの先輩から学び、より専門的な治療を行うさまざまな施設での研修が可能となっています。

## 専攻医週間スケジュール

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|
| 午　前 | 8:15～ 脳外科カンファレンス<br>8:30～ SCUカンファレンス | | | | |
| | 9:00 脳血管撮影<br>血管内治療 | 9:00 手　術 | 9:00 脳血管撮影<br>血管内治療 | 9:00 手　術 | 9:00 脳血管撮影<br>血管内治療 |
| 午　後 | 13:00 リハビリ<br>カンファレンス | 手　術 | 血管内治療 | 手　術 | 血管内治療 |

## 取得可能専門医

- 日本脳神経外科専門医
- 日本脳卒中学会専門医
- 日本脳神経血管内治療専門医
- 日本脳卒中の外科技術認定医
- 日本救急医学会救急科専門医
- 日本神経内視鏡学会技術認定医

## キャリアパス

脳神経外科専門研修プログラム専攻医
脳神経外科専門医
サブスペシャルティ
脳卒中学会認定医
神経内視鏡技術認定医
脳血管内治療専門医

| 卒後年数 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 | 8年 | 9年 | 10年 | 11年 | 12年 | 13年 | 14年 | 15年 | 16年 | 17年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 初期臨床研修期間 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 研修施設名 | 高知県下の研修病院 | | 高知大学病院 | 幡多けんみん病院 | | 県外ハイボリュームセンター | 高知大学病院、医療センター、近森病院、もみのき病院 | あき総合病院 土佐市民病院 | 高知大学病院 | | 海外留学もしくは基礎研究 | | | | | | |
| 診療以外のキャリア | － | － | | 大学院（社会人枠）にて学位取得を目指す | | | | | | | | | | | | | |
| 償還期間消化年数 | 1年 | 2年 | 3年 | 5年 | | － | 6年 | 7.5年 | 9年 | | － | | | － | | | |
| 研修施設名 | 高知県下の研修病院 | | 高知大学病院 | あき総合病院 土佐市民病院 | 高知医療センター 近森病院 もみのき病院 | | 幡多けんみん病院 | | 高知大学病院 | 高知大学病院又は県外ハイボリュームセンター | 海外留学もしくは基礎研究 | | | | | | |
| 診療以外のキャリア | － | － | | 大学院（社会人枠）にて学位取得を目指す | | | | | | | | | | | | | |
| 償還期間消化年数 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 6年 | | 8.5年 | | 9年 | － | － | | | － | | | |

（高知県医師養成奨学貸付金受給者の例）

プログラムの詳細
https://www.kochi-u.ac.jp/kms/sotu5/technical/file/11noshinkeigeka_pro.pdf

脳神経外科 HP
http://www.kochi-u.ac.jp/kms/fm_nrsrg/index.htm

お問い合わせ↘　高知大学病院
〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮185-1
高知大学医学部附属病院　脳神経外科
TEL：088-880-2397　FAX：088-880-2400
Mail／im38@kochi-u.ac.jp

高知大学医学部附属病院

# 放射線診断科

DR.西森に聞きました！
キャリアについて教えて！



放射線診断科

## 西森 美貴 DR.

nishimori miki

Profile

出身大学／島根大学
初期研修病院／高知大学
卒後何年目／13年目
専門分野／画像診断

**Q 現在の診療科、病院へ進んだきっかけ、働いた感想は？**

A 初期研修で様々な診療科をローテートして、画像診断はいずれの科でも重要であることを実感し、また先生方が熱心に診療に打ち込んでいるのを見て、放射線科（放射線診断分野）を選択しました。高知大学に入局することを決めたのは、出身が高知県であったことも大きいのですが、大学病院は臨床だけではなく、研究などにも関わる機会があり、自分の進路についての選択肢が多いのではと考えたからです。入局後も、日常診療だけではなく、研究や学生の教育にも携わることができ、いろいろな働き方ができる場所だと実感しています。

**Q 卒後から現在まで、卒後10年目以降のキャリアについて教えてください**

A 高知医療センターと高知大学で1年間ずつ研修を行った後、高知大学放射線科（放射線診断分野）に入局しました。大学での勤務の傍ら、週に何度か関連病院で勉強させていただき、いろいろな病院の症例を経験することができました。また、2018年度に大学院を卒業し、学位を取得しました。今後も画像診断を中心に、日常診療、研究、後輩の指導などに取り組んでいければと考えています。

**Q 休日の過ごし方、リフレッシュの仕方は？**

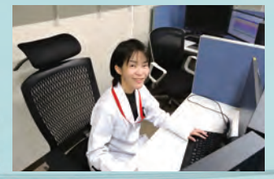
A 子供と遊んだり、家族ででかけたりすることが多いです。放射線診断科は基本的にオンとオフの切替がしやすく、休暇がしっかり取れるので、子育てと両立しやすい科だと思います。

**Q 研修医や医学生にアドバイスをお願いします**

A 昨今ドラマなどで少し認知度が上がりましたが、まだまだ放射線診断科の仕事内容は想像しづらいところが多いと思います。放射線診断科では画像診断のみならず、IVRといった手技も行っており、日常臨床の重要な役割を担っています。ぜひ短期間でも研修に来ていただき、実際の仕事を体験してみてください。













## プログラムの特色

高知大学医学部附属病院放射線科専門研修プログラム

放射線科は、放射線診断（画像診断、核医学、IVR）と放射線治療に大きく分かれていますが、専門医取得にはその両方の知識の習得が必要です。本プログラムでは各分野をローテートすることにより、3年間で必要な症例数を経験し放射線科専門医を取得することができます。また大学病院および連携施設での研修を通じて、急性から慢性疾患まで、先端的な医療から地域医療まで、各臓器の放射線診療を、総合的に研修することが可能となっています。放射線科専門医取得後は放射線診断または治療専門医取得に向けた研修を行うとともに、希望に応じてより専門的なサブスペシャルティ専門医取得を目指した研修も選択できます。

### 専攻医週間スケジュール

| | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 第1〜3月 CT・MRI | 午前 | CT・MRI | 核医学 | CT・MRI | CT・MRI | IVR |
| | 午後 | カンファレンス<br>婦人科カンファレンス | MRI | CT・MRI<br>肝胆膵カンファレンス | CT・MRI<br>呼吸器カンファレンス | CT・MRI |
| 第4〜6月 IVR | 午前 | IVR | IVR | IVR<br>肝胆膵カンファレンス | IVR | 核医学 |
| | 午後 | カンファレンス | IVR | CT・MRI | IVR | IVR |
| 第7〜9月 核医学 | 午前 | 核医学 | 協力施設で消化管造影 | 核医学 | IVR | CT・MRI |
| | 午後 | カンファレンス | 核医学 | 核医学 | 核医学 | 核医学 |
| 第10〜12月 治療 | 午前 | 密封小線源治療 | 病棟診察、外来 | 病棟診察、外来 | 病棟診察、外来 | 病棟診察、外来 |
| | 午後 | カンファレンス | 放射線内用療法 | 放射線治療計画 | 放射線治療計画 | 放射線治療計画 |

### 取得可能専門医

- 放射線科専門医
- 放射線診断専門医
- PET核医学認定医
- 放射線カテーテル治療専門医（IVR専門医）
- 日本がん治療認定医機構認定医
- 日本核医学会核医学専門医
- 日本脈管学会専門医
- その他

### キャリアパス

| | 放射線科専門研修プログラム専攻医 | | | | | | 放射線科専門医 | | | 放射線診断専門医 | | 放射線カテーテル治療専門医（IVR専門医）、核医学専門医など | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 卒後年数 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 | 8年 | 9年 | 10年 | 11年 | 12年 | 13年 | 14年 | 15年 | 16年 | 17年 |
| | 初期臨床研修期間 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 研修施設名 | 高知県下の研修病院 | | 高知大学病院 | | 幡多けんみん病院 | | 高知大学病院 | あき総合病院<br>くぼかわ病院<br>などのいずれか<br>1〜2病院 | | 高知大学病院 | | 海外留学<br>または<br>国内留学 | | 高知大学病院または<br>高知赤十字病院、<br>高知医療センター<br>などの関連病院 | | | |
| 診療以外のキャリア | − | − | | | | | 大学院（社会人枠）にて学位取得を目指す | | | | | | | | | | |
| 償還期間消化年数 | 1年 | 2年 | 4年 | | 6年 | | 7年 | 9年 | | − | | − | | − | | − | − |

（高知県医師養成奨学貸付金受給者の例）

上記は放射線診断医を目指す場合の1例です。



プログラムの詳細
https://www.kochi-u.ac.jp/kms/sotu5/technical/file/12hoshasenka_pro.pdf

放射線科 HP
http://www.kochi-u.ac.jp/kms/fm_rdolg/

お問い合わせ↘
〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮185-1
高知大学医学部附属病院 放射線診断科
TEL：088-880-2367　FAX：088-880-2368
Mail／im30@kochi-u.ac.jp

高知大学医学部附属病院

# 放射線治療科



DR.藤原に聞きました！
キャリアについて教えて！

放射線治療科
**藤原 利輝** DR.
fujiwara toshiki

Profile
出身大学／高知大学
初期研修病院／国立高知病院
卒後何年目／7年目
専門分野／放射線治療

**Q 現在の診療科、病院へ進んだきっかけ、働いた感想は？**

A 実際に入るまでは放射線治療というものが正直よく分かりませんでしたが、癌の3大治療の一つにも関わらず、高知県で圧倒的に不足しているという点で興味はありました。身内に末期癌が見つかった際に緩和的な意味でも支えになるという事を実感したことがきっかけの一つです。高知県内で放射線治療医は不足していることもあり、非常に豊富な症例を経験出来ます。肺癌の放射線治療のエビデンスを築き上げた第一人者である木村教授が全症例を厳しくチェックして頂いているので、特に若いうちに学ぶ環境としては非常に恵まれていると思います。一方で救急対応はほぼ無くまた医局員全員が県外出身者ということで理解もあり、有給などの休暇は取りやすい環境です。

**Q 卒後から現在まで、卒後10年目以降のキャリアについて教えてください**

A 国立高知病院で2年間の初期研修のあと、放射線科（治療科が独立する前）で1年間画像診断を勉強させていただきました。その後、2021年度から放射線治療科に入局しました。妻が内科医で夫婦共働きになるので、子育てのタイミングで大阪に帰るかもしれませんが、高知県や上の先生方には大変お世話になっているので何らかの形で繋がりを持ちたいと考えています。

**Q 休日の過ごし方、リフレッシュの仕方は？**

A 趣味はいろいろ物を作ることと、たまに写真を撮ることです。最近は上手くはないですがテニスを始めました。

**Q 研修医や医学生にアドバイスをお願いします**

A 放射線治療科は緩和照射のイメージが強く、当てても消えず命を伸ばすだけというイメージを持っていました。しかし、実際は多くの癌が治療に反応し、また根治が可能な癌も少なくありません。手術のような派手さはありませんが、局所の治療なので照射方法を緻密に立てれば立てるほど副作用は減って効果が高くなるものだと感じます。一方で緩和治療として患者さんの症状をとったり、麻痺を防いだりという手段としても利用できます。もし興味があれば是非見学だけでも来てみては如何でしょうか。







## プログラムの特色 | 高知大学医学部附属病院放射線科専門研修プログラム

放射線科は、放射線診断（画像診断、核医学、IVR）と放射線治療に大きく分かれていますが、専門医取得にはその両方の知識の習得が必要です。本プログラムでは各分野をローテートすることにより、3年間で必要な症例数を経験し放射線科専門医を取得することができます。また大学病院および連携施設での研修を通じて、急性から慢性疾患まで、先端的な医療から地域医療まで、各臓器の放射線診療を、総合的に研修することが可能となっています。放射線科専門医取得後は放射線診断または治療専門医取得に向けた研修を行うとともに、希望に応じてより専門的なサブスペシャルティ専門医取得を目指した研修も選択できます。

### 専攻医週間スケジュール

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|
| 午　前 | 密封小線源治療（前立腺癌） | 外来、病棟診察 | 外来、病棟診察 | 外来、病棟診察 | 外　来 |
| 午　後 | 病棟カンファレンス<br>婦人科カンファレンス<br>呼吸器内科カンファレンス | 放射線治療計画<br>放射線内用療法 | 密封小線源治療（子宮頸癌） | 放射線治療計画 | 放射線治療計画 |
| 夕　方 | 耳鼻科カンファレンス（隔週） | 骨転移ボード | 放射線治療カンファレンス | 呼吸器カンファレンス（月1回） | |

※3年間のローテーションの内1年間は、放射線診断科において画像診断及びIVRの研修を行う予定です。

### 取得可能専門医

- 日本医学放射線学会放射線科専門医
- 日本医学放射線学会放射線治療専門医
- 日本がん治療認定医機構認定医
- その他（日本食道学会食道科認定医、乳腺認定医など）

### キャリアパス

| 卒後年数 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 | 8年 | 9年 | 10年 | 11年 | 12年 | 13年 | 14年 | 15年 | 16年 | 17年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 放射線科専門研修プログラム専攻医 | | | | | 放射線科専門医 | | 放射線治療専門医 | | | がん治療認定医など | | | | | | |
| 研修施設名 | 初期臨床研修期間 高知県下の研修病院 | | 高知大学病院 | 高知医療センター | 高知大学病院 | 幡多けんみん病院、高知大学病院、高知医療センター等関連病院のいずれか | | | | 高知大学病院または高知医療センターなどの関連病院 | | 海外留学または国内留学 | | 高知大学病院または高知医療センターなどの関連病院 | | | |
| 診療以外のキャリア | － | － | | | | 大学院（社会人枠）にて学位取得を目指す | | | | | | | | | | | |
| 償還期間消化年数 | 1年 | 2年 | 3年 | 3.5年 | | 7年 | | 9年 | | － | | － | | － | | － | － |

（高知県医師養成奨学貸付金受給者の例）

上記は放射線治療医を目指す場合の1例です。







プログラムの詳細
https://www.kochi-u.ac.jp/kms/sotu5/technical/file/12hoshasenka_pro.pdf

放射線治療科 HP
http://www.kochi-u.ac.jp/kms/radio/

お問い合わせ ↘

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮185-1
高知大学医学部附属病院 放射線治療科
TEL：088-880-0419　FAX：088-880-0387
Mail／im93@kochi-u.ac.jp

高知大学医学部附属病院

# 麻酔科



DR.高橋に聞きました！
キャリアについて教えて！

麻酔・集中治療部

## 高橋 愛 DR.

takahashi ai

profile
- 出身大学／高知大学
- 初期研修病院／高知大学・高知赤十字病院たすき掛けプログラム
- 卒後何年目／5年目
- 専門分野／麻酔・緩和医療

**Q 現在の診療科、病院へ進んだきっかけ、働いた感想は？**

A 私は元々、小児に興味があったのですが、麻酔科で一般的な救急対応や急変時の対応を学びたいと考え、研修した期間中に上級医の先生方が一つ一つ根気強く、丁寧にご指導下さったこと、小児麻酔をみさせて頂いたことがきっかけでした。麻酔という分野で元々興味のあった小児に関われることは私にとって大きな魅力の一つでした。さらに、術中、患者さんの全身状態や手術進行を考慮しつつバイタル管理をしたり、集中治療やペイン、緩和医療など麻酔以外の様々な分野で活躍されている先生方をみて、入局を決めました。

大学は、手術の幅が広いことはもちろん、高知県の最後の砦としてハイリスクの手術患者さんも多く、後期研修医として経験を積む上でとても魅力的でした。さらに、上級医の先生方は指導熱心な方が多く、臨床だけでなく、教育面でも非常に充実した場所だと考えました。実際に、ハイリスク症例や稀な症例などそれぞれの疾患や個々の患者さんに合わせてより良い麻酔方法を学び、考えながら、貴重な経験とともに充足感のある日々を送っています。

**Q 卒後から現在まで、卒後10年目以降のキャリアについて教えてください**

A 2年間の初期研修修了後、高知大学麻酔科に入局し、麻酔とサブスペシャリティとして緩和医療について学んでいます。卒後4年目の現在は、低リスク患者の麻酔は自己完結できるように臨床経験を積んでいます。また、専門医取得に向けて、規定の特殊症例を経験すべく、上級医の先生方と相談しながら日々の麻酔を行っています。緩和医療では、緩和医療科の先生方やスタッフの方々と病棟回診を行ったり、各科の先生方やコメディカルスタッフとカンファレンスを行ったりしています。

**Q 休日の過ごし方、リフレッシュの仕方は？**

A 土日は、日当直やオンコール業務、外勤などが入ってなければ、呼び出されることはまずなく、オンオフがはっきりとしています。家族や友人と楽しく過ごしたり、次週の症例について勉強したりと、自由に使える時間がしっかりあるのは麻酔科の魅力の一つです。

**Q 研修医や医学生にアドバイスをお願いします**

A 学生の頃や研修医として臨床の現場に出始めた頃は、自分が麻酔科医になるとは思っていませんでした。既に何科に進むか考えている人もいると思いますが、実際の医療現場で沢山の経験をする中で、色々な気付きがあるかもしれません。その中で麻酔科を選んでいただけるなら、もちろん全力でサポート致します。興味がある方はお気軽にご相談ください。

今後はまず、標榜医および専門医の取得を目指しています。その後ははっきりとしたキャリア構想はまだありませんが、小児麻酔を学びたいため、小児麻酔症例の多い病院への国内留学や小児麻酔科学会などへの参加を考えています。また、サブスペシャリティに関しても、高知大学では数年後に緩和医療病棟が完成するため、緩和医療についての知識もさらに深めたいと考えています。

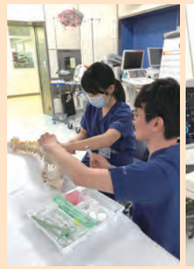






## プログラムの特色 | 高知大学麻酔科専門研修プログラム

麻酔管理を学ぶことができるだけでなく、集中治療、ペインクリニック、緩和ケアといった麻酔科関連領域の専門知識と技量を修得することが可能です。専門研修基幹施設である高知大学医学部附属病院、専門研修連携施設である高知県立幡多けんみん病院、あき総合病院、高知赤十字病院、国立高知病院、広島市立広島市民病院、四国こどもとおとなの医療センターなどそれぞれ特色のある各病院において、個人の将来のビジョンに合わせた研修ができるように組み立てることが可能です。





### 専攻医週間スケジュール

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土・日 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 午　前 | 集中治療室 | 手術室 | 手術室 | 手術室 | 手術室 | 休　み |
| 午　後 | 集中治療室 | 手術室 | 手術室 | 休　み | 手術室 | 休　み |
| 当　直 | | | 当　直 | | | |

### 取得可能専門医

- 日本集中治療医学会専門医
- 日本ペインクリニック学会専門医
- 日本周術期経食道心エコー（JB-POT）認定
- 日本心臓血管麻酔学会心臓血管麻酔専門医
- 日本小児麻酔学会認定医
- 日本区域麻酔学会認定医
- 日本緩和医療学会専門医

### キャリアパス（例：サブスペシャルティなどで時期など変更になります）

麻酔科専門研修プログラム専攻医 → 麻酔科認定医 → 麻酔科専門医 → 例）集中治療専門医

| 卒後年数 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 | 8年 | 9年 | 10年 | 11年 | 12年 | 13年 | 14年 | 15年 | 16年 | 17年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 初期臨床研修期間 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 研修施設名 | 高知県下の研修病院 | | 高知大学病院 | | 幡多けんみん病院<br>あき総合病院<br>のいずれか | | 高知大学病院 | | 幡多けんみん病院<br>あき総合病院<br>のいずれか | 高知大学病院、幡多けんみん病院、あき総合病院、高知赤十字病院をはじめ専門領域にあった病院で引き続きキャリア形成を進めます。<br>また、希望により国内外へ留学することも可能です。<br>学位取得の時期も一例ですので、希望に応じて時期の調整ができます。 | | | | | | 高知大学病院など | |
| 診療以外のキャリア | － | － | | | 大学院（社会人枠）にて学位取得を目指す | | | | | | | | | | | | |
| 償還期間消化年数 | 1年 | 2年 | 4年 | | 6年 | | 7.5年 | | 9年 | － | | | | | | － | |

（高知県医師養成奨学貸付金受給者の例）



プログラムの詳細
https://www.kochi-u.ac.jp/kms/sotu5/technical/file/13masuika_pro.pdf

麻酔科 HP
http://www.kochi-u.ac.jp/kms/fm_ansth/index.htm

お問い合わせ ↘
〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮185-1
高知大学医学部附属病院　麻酔科
TEL：088-880-2471　　FAX：088-880-2192
Mail／ im33@kochi-u.ac.jp

高知大学医学部附属病院

# 病　理




DR.岩下に聞きました!
キャリアについて教えて!

病理診断科

## 岩下 和花 DR.

iwashita waka

Profile
出身大学／高知大学
初期研修病院／高知県立あき総合病院
卒後何年目／8年目
専門分野／人体病理



**Q 現在の診療科、病院へ進んだきっかけ、働いた感想は？**

A 初期研修中にお会いした患者さんの病態を考える際に病理に興味を持ちました。

入局前年に友人が病理学講座に入局していたこと、講座の降幡教授と面談して働きやすそうな職場であることを感じたためです。実際に働いて、病理診断の難しさと面白さを日々感じています。これからも上級医の指導を受け精進していきたいと思います。

**Q 卒後から現在まで、卒後10年目以降のキャリアについて教えてください**

A 高知県立あき総合病院で2年間初期研修し、以後は現職です。今後は専門医試験に合格し、博士号を取得していたいです。

**Q 休日の過ごし方、リフレッシュの仕方は？**

A 基本的にカレンダー通りの休日を取得できます。週末には時々オートバイに乗って遠出します。

**Q 研修医や医学生にアドバイスをお願いします**

A 授業ではとっつきにくい教科だったかもしれませんが、実際の患者さんのスライドガラスを見ながら考えるととても面白くなります。ぜひ病理学講座・病理診断部・病理診断科にお越しいただき、一緒に疾患を考えてみましょう。お待ちしています。







## プログラムの特色　高知県・高知大学病理専門研修プログラム

本プログラムでは、高知大学医学部附属病院病理診断科を基幹施設とし、3年間は高知医療センター、高知赤十字病院、国立病院機構高知病院、近森病院の専門研修連携施設をローテートして病理専門医資格の取得を目指します。また、細木病院、JA高知病院、県立幡多けんみん病院、県立あき総合病院の症例も経験可能です。高知県外では、希望に応じて、松山市民病院（愛媛県）、はりま姫路総合医療センター（兵庫県）の専門研修連携施設をローテートすることも可能です。



### 専攻医週間スケジュール

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|
| Cancer board（月1回） | 病理学実習（1時限及び2時限）参　加（10月～翌年2月） | 肝胆膵カンファレンス | 皮膚カンファレンス<br>腎臓カンファレンス<br>肺がんカンファレンス | 終日診断業務 |
| 随時、剖検（基幹施設あるいは連携施設にて） | | | | |

### 取得可能専門医

- 細胞診専門医（カリキュラム制）
- 臨床検査専門医（カリキュラム制）

### キャリアパス

病理専門研修プログラム専攻医 → 病理専門医 → サブスペシャルティ細胞診専門医

| 卒後年数 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 | 8年 | 9年 | 10年 | 11年 | 12年 | 13年 | 14年 | 15年 | 16年 | 17年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 初期臨床研修期間 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 研修施設名 | 高知県下の研修病院 | | 幡多けんみん病院 | 高知医療センター | 高知大学病院 | | 幡多けんみん病院 | | | 高知大学病院または幡多けんみん病院など10年目以降（場合によってはそれ以前）に国内外留学が可能 | | | | | | 高知大学病院など | |
| 診療以外のキャリア | － | － | 大学院（社会人枠）にて学位取得を目指す | | | | | | | | | | | | | | |
| 償還期間消化年数 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 6年 | | 9年 | | | － | | | | | | － | |

（高知県医師養成奨学貸付金受給者の例）

プログラムの詳細
https://www.kochi-u.ac.jp/kms/sotu5/technical/file/14byori_pro.pdf

病理 HP
http://www.kochi-u.ac.jp/kms/ff_pthl2/index.htm

お問い合わせ↘
プログラム統括責任者：村上一郎
Mail／ ichiro-murakami@kochi-u.ac.jp

高知大学医学部附属病院　病理診断科（高知大学医学部病理学講座）
〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮
TEL：088-880-2330　FAX：088-880-2332

高知大学医学部附属病院　病理診断部
〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮185-1
TEL：088-880-2689　FAX：088-880-2192

高知大学医学部附属病院

# 臨床検査

DR.今村に聞きました！
キャリアについて教えて！



輸血・細胞治療部

今村　潤 DR.

imamura jun

Profile

出身大学／高知大学
卒後何年目／40年目
専門分野／輸血・細胞治療学、血液内科学

**Q 現在の診療科、病院へ進んだきっかけ、働いた感想は？**

A 血液の分化と疾患について学ぶにつれ、細胞の分化メカニズムと疾患成立の密接な関連に興味を覚えて第3内科に入局、臨床・研究に従事しました。その中で、幹細胞移植に代表される「細胞治療」に興味を持ち、輸血部（現輸血・細胞治療部）に移籍したのです。大学病院では専門的な疾患の診療、その原因となるウイルスや遺伝子異常の研究ができるに事に魅力を感じた事もきっかけです。

**Q 卒後から現在まで、卒後10年目以降のキャリアについて教えてください**

A 第3内科に在籍しつつ大学院博士課程に進学、大学院在学中に国立がんセンター研究所でウイルスの研究を行い、博士号を取得。卒業後に同研究所でリサーチレジデントとして研究に当たり、その後米国カリフォルニア大学ロサンゼルス校に留学、癌抑制遺伝子の変異やサイトカイン遺伝子の発現制御に関する研究に従事。その後第3内科復職し、卒後10年目に輸血・細胞治療部に移籍、卒後10年目から現在まで現職を続けているのは、それだけ輸血・細胞治療を発展させる仕事にやりがいを感じていたのだろうと、自らのキャリアを振り返っています。幸い、幹細胞移植治療や組織新生療法を本院に導入、細胞プロセッシング室の運用を実現する事ができました。その後運用を継続し、細胞治療の実施症例を積み重ねています。

**Q 休日の過ごし方、リフレッシュの仕方は？**

A 休暇は夏休み・リフレッシュ休暇など取得可能です。私自身は有給休暇はこれまであまり取得していませんでしたが、今後はある程度取るようにしたいと思います。休日は読書やビデオ鑑賞、音楽を聴いて過ごす事が多いように思います。また、下手なピアノの練習をしたり、車の運転を楽しんだりする事でリフレッシュしています。

**Q 研修医や医学生にアドバイスをお願いします**

A まず自分が最も興味が持てる分野・部門に進む事が第一だと思います。基礎的な事柄を十分身に付ける事が大切ですが、その上で臨床でも研究でも自分のやりたい事について極める。私もまだまだ不十分だと感じていますが、プロフェッショナルとして、これで十分だと思う事なく深く遠くまで追求する姿勢が大切なのだと思います。







## プログラムの特色　高知大学臨床検査専門研修

プログラム制にもカリキュラム制にも対応しています。プログラム制は、初期研修修了後の3年間のストレート専門研修を想定しています。カリキュラム制は、他専門医取得後に臨床検査専門医への切り替えや重複取得を目指す方に、開かれています。一般には行われない基礎領域の重複が当プログラムでは可能となっています。転向やステップアップを考える方に対応できるようになっています。

## 専攻医週間スケジュール

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|
| 午　前 | 指導医による指導・自己学習・臨床科カンファレンス | 検査室研修・検体検査診断業務 | 指導医による指導・自己学習 | 検査室研修・検体検査診断業務 | 指導医による指導・自己学習 |
| 午　後 | 検査室研修・検体検査診断業務または病態情報診断学講座カンファレンス | 検査室研修・検体検査診断業務 | 検査室研修・検体検査診断業務 | 検査室研修・検体検査診断業務 | 検査室研修・検体検査診断業務 |
| 夕　方 | 自己学習または検査部会議 | 研究カンファレンス | 医局での抄読会 | 自己学習 | 自己学習またはRCPC |

## 取得可能専門医

●臨床検査専門医

## キャリアパス

臨床検査専門研修プログラム専攻医 ／ 臨床検査専門医取得 ／ 臨床検査指導医取得

| 卒後年数 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 | 8年 | 9年 | 10年 | 11年 | 12年 | 13年 | 14年 | 15年 | 16年 | 17年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 初期臨床研修期間 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 研修施設名 | 高知県下の研修病院 | | 高知大学病院 | 天理よろづ相談所病院 | | 高知大学病院 | あき総合病院、土佐市民病院など | | | | 高知大学病院 | 高知大学病院または、あき総合病院など希望者には国内外への留学 | | | | | |
| 診療以外のキャリア | － | － | | | | 大学院（社会人枠）にて学位取得を目指す | | | | | | | | | | | |
| 償還期間消化年数 | 1年 | 2年 | 3年 | － | | 4年 | 7.5年 | | | | 9年 | － | | | | | |

（高知県医師養成奨学貸付金受給者の例）





プログラムの詳細
https://www.kochi-u.ac.jp/kms/sotu5/technical/file/15rinshokensa_pro.pdf

検査 HP
http://www.kochi-u.ac.jp/kms/fm_clncl/

お問い合わせ↘
〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮185-1
高知大学医学部附属病院　検査部／輸血・細胞治療部
TEL：088-880-2462　　FAX：088-880-2192
Mail／im22@kochi-u.ac.jp
ichiro-murakami@kochi-u.ac.jp

高知大学医学部附属病院

# 救急科



DR.竹内に聞きました！
キャリアについて教えて！

救急科
竹内 慎哉 DR.
takeuchi shinya

Profile
出身大学／高知大学
初期研修病院／福井県立病院
卒後何年目／16年目
専門分野／救急・ER診療

**Q 現在の診療科、病院へ進んだきっかけ、働いた感想は？**

A 夜間、患者さんが受診した際に「専門外なので診れません」と言いたくないな、と思ったのがきっかけです。救急医の特徴は「臓器にとらわれず人を診る」ことと言えます。一つの症例についてしっかり考えながら診療を行いたい、座学の時間もある程度とりたい、という方には高知大学の救急プログラムがお勧めです。もちろん、3次救命救急センターや県外での研修により、重症患者や多数患者同時診療のトレーニングも行えるのでご安心ください。

**Q 卒後から現在まで、卒後10年目以降のキャリアについて教えてください**

A 軽症から重症までの初療を中心にして、臨床研究、医学教育に関するキャリアを積んでいます。北米型ERで有名な福井県立病院で初期研修修了、帝京大学で重症救急を、東京ベイ・浦安市川医療センターでHigh volumeなER研修を学びました。この時点で救急科専門医および公衆衛生学修士を取得。卒後11年目からは高知医療センターで病院前診療を学び、13年目から高知大学で勤務をしています。個人的には、教育評価、システム作り、generalist養成など、医学教育関連を考えています。救急医のキャリアは、ER・集中治療・外傷外科などの救急医としてだけでなく、IVRや脳神経外科、整形外科などの臨床医、開業、臨床研究、医療政策、コンサルタントなど様々な選択肢があります。

**Q 休日の過ごし方、リフレッシュの仕方は？**

A 働き方改革により週休2日はあり、有給休暇などもあるので、比較的余裕があります。Off the Job トレーニングなどもありますが、こどもの習い事に行ったり、一緒に遊んだり、作り置きごはんを作ったりしています。家族旅行などでリフレッシュもしっかりしています。

**Q 研修医や医学生にアドバイスをお願いします**

A 救急医は幅広い診断能力だけでなく、診断がつかない状態でも治療開始することも重要となります。ただ、「重症とか急ぐのとか苦手だからやっぱり救急はムリかも、、」と思う必要はありません。なぜなら、専門医プログラムはその能力を養うためにあり、3年後にできるようにあなたたちを育てるのが私たちの役割だからです。苦手な人こそ選択肢に入れてみてください。












## プログラムの特色　高知大学救急科専門研修プログラム

本プログラムの専攻医の研修は、救急科領域研修カリキュラムに準拠し行われます。本プログラムに沿った専門研修によって専門的知識、専門的技能、学問的姿勢の修得に加えて医師としての倫理性・社会性（コアコンピテンシー）を修得し、救急科専攻医として必要な様々な能力を習得することができます。

### 専攻医週間スケジュール（例）

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 8:00〜 | | 日本医大とweb抄読会 | | | | | |
| 8:30〜<br>10:00〜 | 救命救急センターなどへ外勤 | ERカンファレンス<br>ICUカンファレンス<br>ER対応 | | | | 月1回程度の日勤<br>off the job training | |
| 17:15 | 週1回程度の夜勤（翌日休み） | | | | | | |

### 取得可能専門医

- 救急科専門医
- JATEC
- JPTEC
- ICLS
- インストラクター
- 外科専門医、整形外科専門医
- 脳神経外科専門医
- 消化器内視鏡専門医集中治療専門医
- 外傷専門医

### キャリアパス

救急科専門研修プログラム専攻医 → 救急科専門医 → 医学博士取得 → 救急科指導医

| 卒後年数 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 | 8年 | 9年 | 10年 | 11年 | 12年 | 13年 | 14年 | 15年 | 16年 | 17年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 初期臨床研修期間 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 研修施設名 | 高知県下の研修病院 | | 高知大学病院／高知医療センター | 日本医科大学病院 | 高知大学病院／高知医療センター | 幡多けんみん病院 | 高知大学病院（サブスペ選択科） | 幡多けんみん病院 | 高知大学病院 | 幡多けんみん病院／あき総合病院のいずれか | 高知大学病院／救命救急センター<br>国内留学など | | | | | | |
| 診療以外のキャリア | − | − | 大学院（社会人枠）にて学位取得を目指す | | | | | | | | | | | | | | |
| 償還期間<br>消化年数 | 1年 | 2年 | 3年 | 3.5年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 | 9年 | | | | | | | − | |
| 研修施設名 | 高知県下の研修病院 | | 高知大学病院／高知医療センター | 高知医療センターなど | 幡多けんみん病院 | 日本医科大学病院 | 高知大学病院（サブスペ選択科） | 幡多けんみん病院 | | 高知大学病院 | 幡多けんみん病院 | 高知大学病院／救命救急センター<br>国内留学など | | | | | |
| 診療以外のキャリア | − | − | 大学院（社会人枠）にて学位取得を目指す | | | | | | | | | | | | | | |
| 償還期間<br>消化年数 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | − | 6年 | 7年 | 8年 | 8.5年<br>9年 | − | | | | − | | |

外科専門医、整形外科専門医
脳神経外科専門医
消化器内視鏡専門医集中治療専門医
外傷専門医

（高知県医師養成奨学貸付金受給者の例）

救命救急センター：日本医科大学高度救命救急センター、高知医療センターまたは近森病院、高知赤十字病院

プログラムの詳細
https://www.kochi-u.ac.jp/kms/sotu5/technical/file/16kyukyuka_pro.pdf

救急科 HP
http://www.kochi-u.ac.jp/kms/kus99/

お問い合わせ↘
〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮185-1
高知大学医学部附属病院 救急科
TEL：088-880-2286　FAX：088-880-2192
Mail／im68@kochi-u.ac.jp

高知大学医学部附属病院

# 形成外科

DR.田中に聞きました！
キャリアについて教えて！



形成外科

## 田中 浩史郎 DR.

tanaka koshiro

Profile
出身大学／高知大学
初期研修病院／細木病院
卒後何年目／10年目
専門分野／乳房再建

**Q 現在の診療科、病院へ進んだきっかけ、働いた感想は？**

A 父が形成外科だったこともあり、形成外科への興味がありました。そんな中、学生実習や研修医で形成外科を履修したときの雰囲気や手技の繊細さに魅かれたのが形成外科へ進もうと思ったきっかけです。高知大学形成外科は再建を主な診療内容としており、メリハリがとてもあります。手術が夜中まで及ぶこともあれば、土日は完全にフリーの日もあるので、プライベートも仕事もとても充実しています。

**Q 卒後から現在まで、卒後10年目以降のキャリアについて教えてください**

A 初期研修を高知市内の細木病院をはじめ県内の各病院で行った後、高知大学の形成外科に進み、そのまま現在に至るまで大学で診療に従事しています。今後は、より専門的な分野に進みつつも、形成外科一般の幅広い分野もカバーできるように色々な症例を経験していきたいと考えています。

**Q 休日の過ごし方、リフレッシュの仕方は？**

A 月に一回か二回は完全に仕事がない土日が取得できます。休日は家で映画を見ることもあれば、ランニング、学生時代に部活動をしていたバドミントンをすることもあります。

**Q 研修医や医学生にアドバイスをお願いします**

A どの科に入るか、どの病院で初期研修をするかなど悩みは尽きないと思いますが、どんな科でもどんな病院でも絶対に楽しいしやりがいがあります。研修や病院見学の際に実際にまわってみて、楽しい科や居心地がいいと思う研修病院などの進路に進んでください。











## プログラムの特色 | 形成外科専門研修

高知県内外で、先天形態異常、外傷、悪性腫瘍切除後の再建など、形成外科全般について幅広い専門研修が行えます。

### 専攻医週間スケジュール

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|
| 午　前 | 手　術 | 手術／外来 | 病棟回診 | 外　来 | 病棟回診 |
| 午　後 | 手術／勉強会 | 手　術 | 外　来 | | 手　術 |

### 取得可能専門医

- 日本形成外科学会専門医
- 再建・マイクロサージャリー分野指導医
- 日本創傷外科学会専門医
- 皮膚腫瘍外科分野指導医
- 日本美容外科学会専門医
- 小児形成外科分野指導医
- 日本頭蓋顎顔面外科学会専門医

### キャリアパス

形成外科専門研修プログラム専攻医

形成外科専門医

| 卒後年数 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 | 8年 | 9年 | 10年 | 11年 | 12年 | 13年 | 14年 | 15年 | 16年 | 17年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 初期臨床研修期間 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 研修施設名 | 高知県下の研修病院 | | 高知大学病院 | 千葉大学の連携施設（千葉大学病院、君津中央病院、松戸市立総合医療センター、新久喜総合病院など） | | | 高知県内の地域医療施設（あき総合病院、幡多けんみん病院、高陵病院） | | 高知大学病院 | | あき総合病院、幡多けんみん病院など | | 高知大学病院またはあき総合病院など<br>希望者には国内外への留学 | | | | |
| 診療以外のキャリア | － | － | | | | | | | | | | | | | | | |
| 償還期間消化年数 | 1年 | 2年 | 3年 | － | | | 4.5年 | | 7年 | | 9年 | | － | | | | |

（高知県医師養成奨学貸付金受給者の例）

◉2023年4月時点では、高知大学病院以外では、3つの地域医療施設（あき総合病院、幡多けんみん病院、高陵病院）で勤務が可能となっている。◉今後は、他大学の研修プログラムで連携施設となっている高知市内の中核施設と連携することで、より多くの期間で高知県内で研修出来るシステムの構築を目指している。◉将来的にあき総合病院および幡多けんみん病院に常勤の形成外科専門医を派遣可能となれば、卒後4〜6年目に行う県外研修をそれに変更することが可能となる。◉専門医取得後、5年経過して専門医を更新する際にサブスペシャリティ2分野以上を取得の者は、指導医の取得が可能である。それまでの期間で、あき総合病院や幡多けんみん病院などで勤務することにより、奨学金の償還期間に達することが出来る。

プログラムの詳細
https://www.kochi-u.ac.jp/kms/sotu5/technical/file/17keiseigeka_pro.pdf

形成外科 HP
http://www.kochi-u.ac.jp/kms/courses/33/

お問い合わせ↘
〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮185-1
高知大学医学部附属病院　形成外科
TEL：088-880-2375　　FAX：088-880-2192
Mail／prs-kms@kochi-u.ac.jp

高知大学医学部附属病院

# リハビリ



DR.柳川に聞きました！
キャリアについて教えて！


リハビリテーション部

柳川 祐輝 DR.

yanagawa yuki


Profile

出身大学／高知大学
初期研修病院／高知県立幡多けんみん病院
卒後何年目／10年目
専門分野／整形外科、
リハビリテーション科

**Q 現在の診療科、病院へ進んだきっかけ、働いた感想は？**

A 元々、変性疾患や骨折などで動きが悪くなった患者さんが、動けるようになって退院していくのに魅かれ整形外科に入りました。そこからリハビリテーションの道に進んだ直接のきっかけは上級医からの勧めではありますが、自分の中での根本の動機は同じで、動きを良くして病院から普段の生活へ帰してあげられるようになりたいと思っています。

リハビリテーションの研修を始めるにあたって声をかけていただき、整形外科的な分野とリハビリテーションの分野に跨って日々充実した活動をしております。

**Q 卒後から現在まで、卒後10年目以降のキャリアについて教えてください**

A 高知県立幡多けんみん病院で2年間の初期研修後、高知大学医学部の整形外科学教室に入局し、1年間高知大学医学部附属病院で勤務しました。その後、土佐市立土佐市民病院で2年間勤務し、県立幡多けんみん病院での3年間の勤務中に整形外科専門医資格を取得しました。現在は高知大学医学部附属病院に再び戻り、リハビリテーションの研修を行っています。今後は、リハビリテーション科専門医資格の取得に向けて、必要な経験や学会発表を重ねていきたいと考えています。

**Q 休日の過ごし方、リフレッシュの仕方は？**

A 土曜日午後と日曜日は、当番で待機になっていなければ基本的には休みになっています。休みの時は、小説を読むなどしてゆっくり過ごしたり、たまに運動したりもします。気が向いたときに、外に写真を撮りに行ったりもしています。

**Q 研修医や医学生にアドバイスをお願いします**

A 今からの数年が、今後医療に携わる上での下地になってくると思います。色々と経験しながら勉強して、自分の中の引き出しを増やしておくといいと思います。また、医学に限らず興味のあることに積極的に手を出してみてください。自分の可能性を広げることに繋がりますし、スタッフや患者さんとのコミュニケーションにも役立つと思います。







## プログラムの特色 | 高知県リハビリテーション専門研修プログラム

高知大学リハビリテーション部が中心となり、研修医の希望を取り入れながら研修を行います。多くの難治症例が集まる大学病院で希少症例を経験することができます。研修連携施設の近森リハビリテーション病院は、日本の回復期リハビリテーション病院のモデル施設であり、最先端の回復期リハを経験でき、リハ医として成長できます。急性期・回復期・維持期のリハを細木病院・高知病院で一括に研修できます。小児疾患は高知県唯一の障害小児専門施設の高知県立療育福祉センターで対応します。

### 専攻医週間スケジュール

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|
| 7:30～8:30 | | | 研究カンファレンス | 論文抄読会 | |
| 8:30～9:00 | リハビリ科カンファレンス | | リハビリ科カンファレンス | リハビリ科カンファレンス | リハビリ科カンファレンス |
| 9:00～12:00 | リハビリ外来 | リハビリ外来 | リハビリ外来 | 小児リハビリ外来 | 補装具判定外来 |
| 13:30～17:00 | 整形外科合同カンファレンス | リハビリ外来 | リハビリ外来 | ボトックス外来 | リハビリ外来 |
| 17:00～18:00 | 問題症例等のカンファレンス | 研究時間 | 問題症例等のカンファレンス | 研究時間 | 問題症例等のカンファレンス |

### 取得可能専門医

●リハビリテーション専門医





### キャリアパス

高知県リハビリテーション専門研修プログラム専攻医 #1

リハビリテーション専門医

| 卒後年数 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 | 8年 | 9年 | 10年 | 11年 | 12年 | 13年 | 14年 | 15年 | 16年 | 17年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 研修施設名 | 初期臨床研修期間 高知県下の研修病院 | | 高知大学病院（最低半年）・近森リハビリテーション病院（最低半年）・高知県立療育福祉センター#2・細木病院 | | | 高知大学病院・近森リハビリテーション病院・細木病院・高知病院・だいいちリハビリテーション病院・愛宕病院・高知西病院 #3 | | | | くぼかわ病院・須崎くろしお病院・白菊園病院・田野病院 等 | | | | | | | |
| | | | | | | くぼかわ病院・須崎くろしお病院・白菊園病院・田野病院 等 #4 | | | | | | | | | | | |
| 診療以外のキャリア | － | － | | | | | | | | | | | | | | | |
| 償還期間消化年数 | 1年 | 2年 | 5.5年 | | | 9年 | | | | － | | | | | | | |

（高知県医師養成奨学貸付金受給者の例）

注釈：#1 専攻医は、(1)脳血管障害, 外傷性脳損傷など (2)脊髄損傷, 脊髄疾患 (3)骨関節疾患, 骨折 (4)小児疾患 (5)神経筋疾患 (6)切断 (7)内部障害 (8)その他(廃用症候群, がん, 疼痛性疾患など)の8領域の研修を行う。
ただし、専攻医が重点的に研修を希望する領域があれば、専攻医、指導医、部門責任者等により協議の上、研修スケジュールを調整する。
例 運動器重点プログラム：高知大学病院1.5年、高知県立療育福祉センター1年（勤務出来なければ高知大学病院2.5年）、近森リハビリテーション病院0.5年
脳血管重点プログラム：高知大学病院0.5年、近森リハビリテーション病院2.5年 等
#2 専攻医期間中における高知県立療育福祉センター勤務は、前年度中に高知県に対して勤務申請を行い、許可が得られた場合のみ可能となる。
#3 この期間に高知市・南国市の施設を選択する場合は、償還猶予期間を利用する必要あり。
#4 償還期間消化を優先するコース。高知市・南国市以外の施設と勤務内容および期間を個別に交渉する必要あり。



プログラムの詳細
https://www.kochi-u.ac.jp/kms/sotu5/technical/file/18rehabilitation_pro.pdf


お問い合わせ ↘

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮185-1
高知大学医学部附属病院 リハビリテーション部
TEL：088-880-2490　FAX：088-880-2192
Mail／ izumim@kochi-u.ac.jp

高知大学医学部附属病院

# 総合診療



DR.江田に聞きました！
キャリアについて教えて！

高知県立あき総合病院　内科

## 江田 雅志 DR.

eda masashi

Profile
- 出身大学／高知大学
- 初期研修病院／高知大学医学部附属病院
- 卒後何年目／12年目
- 専門分野／総合診療・家庭医療

**Q 現在の診療科、病院へ進んだきっかけ、働いた感想は？**

A 学生時代から臓器別に病気を治すことよりも患者さんを全人的に支えていくこと、そして生活の場に根差した医療に興味がありこの道へ進みました。初期研修のローテーションを考える際に、大学病院では診ることのできない内科疾患を研修したいと思い、紹介していただいたのがきっかけであき総合病院を選びました。急性期医療から看取りまで幅広い分野の医療を行っていける病院で、東部地域の中核として院内外の多職種が連携し合っているチームワークの良い病院だと思います。

**Q 卒後から現在まで、卒後10年目以降のキャリアについて教えてください**

A 初期研修を高知大学（5カ月はあき総合病院、2カ月は地域研修）、3～5年目を高知県立病院群総合医家庭医養成後期研修プログラム。あき総合病院（内科12カ月、循環器内科3カ月、消化器内科3カ月）、幡多けんみん病院（小児科3カ月）、高知医療センター（救命救急科3カ月）、梼原町立国民健康保険梼原病院（内科12カ月）。6年目～あき総合病院内科（6年目に家庭医療専門医取得）。10年目以降は、学生・研修医の教育を通じて自身のスキルを磨き、将来的にはさらに地方の診療所あるいは小規模病院で医療機関を通じた街づくりをしていきたいと考えています。

**Q 休日の過ごし方、リフレッシュの仕方は？**

A オーバーワークにならないように休日は交代で勤務をしています。休日は家族とゆっくり過ごすことで疲れをとっています。

**Q 研修医や医学生にアドバイスをお願いします**

A 将来どんな医師になりたいか、目標とする医師像はどんなものかを実習、研修を通じて見つけていけると良いかと思います。何をしたいかわからなければ、とりあえずその瞬間にやりたいと思えることからやってみてはどうでしょうか。











## プログラムの特色　高知家総合診療専門研修プログラム

1. **県内で唯一の総合診療専門研修プログラム**
   高知県内の三次医療を担う大学病院から地域の中核的な医療機関やプライマリ・ケアを担う医療機関までさまざまな医療機関で構成されており、幅広い環境で活躍できる総合診療専門医になることができます。
2. **33の魅力的な研修施設**
   さまざまなニーズに合わせて、自分にあった研修ができます。
3. **3年間、安定した身分保障**
   専攻医は一般社団法人高知医療再生機構において、研修期間を通して常勤職員として雇用され、安心して研修に集中することができます。

## 専攻医週間スケジュール

県立あき総合病院における「総合診療専門研修Ⅱ」スケジュール

| | 内　容 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 8:00～8:30 | モーニングカンファレンス | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 8:30～12:00 | 病棟業務 | ○ | | ○ | ○ | | | |
| 8:30～12:00 | 初診外来 | | ○ | | | ○ | | |
| 13:00～16:30 | 再来外来 | | ○ | | | ○ | | |
| 13:00～16:30 | 救急当番 | ○ | | | | | | |
| 13:00～16:30 | 病棟業務 | | | ○ | ○ | | | |
| 16:30～17:15 | カルテレビュー | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 16:30～17:15 | 教育カンファレンス | | | | ○ | | | |
| 17:15～8:30 | 当直（平日1回／週、土日1～2回／月） | | | ○ | | | ○ | ○ |

## 取得可能専門医

●総合診療専門医

## キャリアパス

高知家総合診療専門研修プログラム専攻医（高知家家庭医療専門研修プログラムの連動研修を選択）／総合診療専門医／家庭医療専門医／病院総合診療専門医／総合診療専門研修指導医

| 卒後年数 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 | 8年 | 9年 | 10年 | 11年 | 12年 | 13年 | 14年 | 15年 | 16年 | 17年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 初期臨床研修期間 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 病院総合診療を実践する総合診療医を目指す場合 研修施設名 | 高知県下の研修病院 | | ①高知医療センター、②近森病院、③国立高知病院、④細木病院、⑤JA高知病院、⑥いずみの病院+高知赤十字病院、⑦高知生協病院+高知赤十字病院、のうちいずれかのコースを選択し、総合診療Ⅱ・内科・救急・小児科を研修（アレンジ可能） | | 16か所の医療機関※のうち1か所で総合診療Ⅰを研修 | 16か所の医療機関※<br>土佐市民病院<br>幡多けんみん病院<br>あき総合病院、他 | | | 高知大学病院<br>高知医療センター<br>近森病院<br>国立高知病院<br>細木病院<br>JA高知病院<br>高知赤十字病院<br>いずみの病院<br>高知生協病院<br>JCHO高知西病院、他 | キャリアに応じて自由に選択<br>（高知家総合診療専門研修プログラムの指導医がサポートします） | | | | | | |
| 診療以外のキャリア | － | － | | | | 大学院進学／臨床研究フェロー | | | | | | | | | | | |
| 家庭医療を実践する総合診療医を目指す場合 研修施設名 | 高知県下の研修病院 | | ⑧あき総合病院、⑨幡多けんみん病院、他で総合診療Ⅱ・内科・救急・小児科を研修（アレンジ可能） | | 高知生協病院で総合診療Ⅰを研修 | 16か所の医療機関※<br>土佐市民病院<br>幡多けんみん病院<br>あき総合病院、他 | | | | キャリアに応じて自由に選択<br>（高知家総合診療専門研修プログラムの指導医がサポートします） | | | | | | | |
| 償還期間消化年数 | 1年 | 1年 | 1年 | 1年 | 1年 | 1年 | 1年 | 1年 | 1年 | － | | | | | | | |

（高知県医師養成奨学貸付金受給者の例）

※16か所の医療機関：田野病院、野市中央病院、嶺北中央病院、仁淀病院、高北病院、梼原病院、須崎くろしお病院、くぼかわ病院、四万十市立市民病院、渭南病院、大井田病院、大月病院、日高クリニック、大崎診療所、大正診療所、西土佐診療所

プログラムの詳細
https://www.kochi-u.ac.jp/kms/sotu5/technical/file/19sougou_pro.pdf

総合診療 HP
http://kochisogopg.com/

お問い合わせ↘
〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮
高知家総合診療専門研修プログラム事務局（高知大学医学部家庭医療学講座）
TEL：088-880-2761　FAX：088-880-2761
Mail／kochisogopg@gmail.com